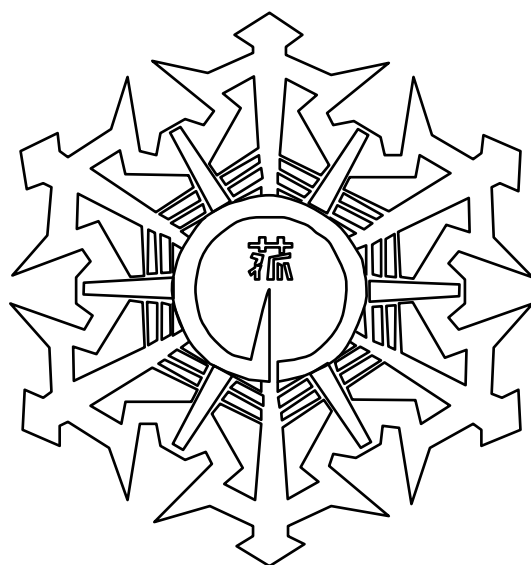


消防年報



三重県
菰野町消防本部
(平成30年版)

はじめに

本書は、菰野町における消防情勢と、平成 29 年中における消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするため編集しました。

なお、統計資料は特に記載のあるものを除き、平成 29 年中をもって表しました。

平成 30 年 8 月

三重県 こものちょう 菰野町 消防本部

目 次

消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	1
菰野消防のあゆみ	2～5
歴代消防長	5
平成 29 年中の主な行事	6
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	7
消防予算	8
一般会計予算に占める消防費の割合	
消防費に対する人口、世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別、所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
消防本部（署）庁舎の概要	12
現有消防車両	
通信施設状況	13
消防水利状況	14
各種訓練実施状況	
外部研修等派遣状況	15
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	22
年齢別及び階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員各種手当	
消防団員職業別構成表	24
消防団消防車両配置状況	

予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去5年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報、啓発活動状況	30

火 災

火災発生状況	31
過去5年間の火災発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出動状況	
火災出動区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	34～37
絵で見る火災原因	38

救 急、救 助

救急事故発生状況	39
過去5年間の救急事故発生状況	
事故種別救急出動件数・搬送人員	40
現場到着所要時間別救急件数	
収容所要時間別救急搬送人員	
年齢区分別救急搬送人員	41
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出動件数	
地区別救急出動状況	42
月別救急出動状況	
曜日別救急出動状況	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	43
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	44
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	45
救助出動状況	46～51
事故種別出動件数・救助人員	52
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	

気 象、通 信

月別気象状況と火災件数	53
月別気温概況	54
月別降水量概況	
月別湿度概況	55
月別風速概況	
気象通報受信状況	56
通信指令	57
三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況	

消防情勢



三重県では平成5年4月から防災ヘリの運航を開始しました。平成29年9月には新しい機体に更新し、救急救助や消火活動をはじめ、災害時における被害状況調査、緊急物資の輸送等に活用され、県内消防防災体制の一翼を担っています。

菰野町の概要、位置図

菰野町は、三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい。

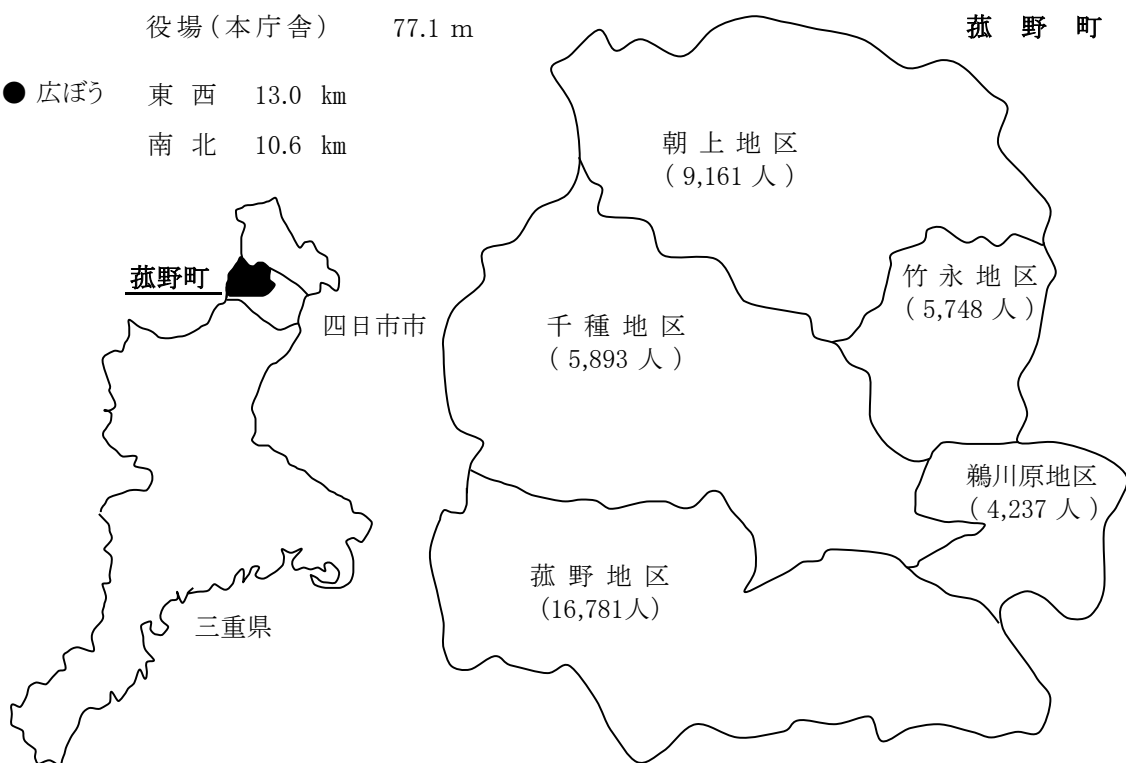
菰野町では、目指すべき将来像を「自然の中に人々が集う、笑顔と活力のまち 菰野」をスローガンに掲げ、町民の安全安心への思いや、絆を大切にしながら、自然との調和を基盤とした町づくりを推進している。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,820 人
東経 136° 30' 25" (平成30.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 16,284 世帯
(平成30.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野消防のあゆみ

昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置。

昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定(内定)を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工。
8. 24 日本消防協会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始。(総務課消防防災係16名)

昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成。(コミュニティ防災センターを併設)
2. 14 消防庁舎において試行業務開始。
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部・消防署発足。**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式。

昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車(CD-I型)購入。
11. 19 普通貨物自動車購入。

昭和62年(1987)

2. 26 はしご車(30m級)購入。
10. 14 (社)日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入。

昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部(溺者救助)にて入賞。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部(溺者救助)にて入賞。

平成元年(1989)

1. 24 救急車(2B型)購入。
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部(溺者救助)にて入賞。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部(溺者救助)にて入賞。

平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始。

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入。
- 3. 18 訓練塔竣工式。
- 12. 22 消毒室完成。

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入。
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始。
- 5. 15 救急救命士が誕生。

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入。
- 4. 1 救急救命士業務の運用を開始。
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始。
- 11. 24 積載車購入。

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入。
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入。
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始。

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正。

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。(3年間)
- 9. 3~4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菟野町で実施。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了。
- 8. 8 携帯119番直接受信開始。
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結。

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入。
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車(水-I A型)購入。
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 3. 14 救助工作車(II型)購入。
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 12 指揮車購入。

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始。
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成。

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 12. 2 高規格救急車購入。

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。（3年間）
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入。
- 12. 27 広報車購入。

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰受賞。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成26年(2014)

- 3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入。
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型C A F S付）購入。

平成27年(2015)

- 1. 31 資機材搬送車購入。
- 4. 1 救命サポート事業開始。
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足。（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入。

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始。
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。（3年間）
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。

平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章受章。
- 11. 28 高規格救急車購入。

歴代消防長

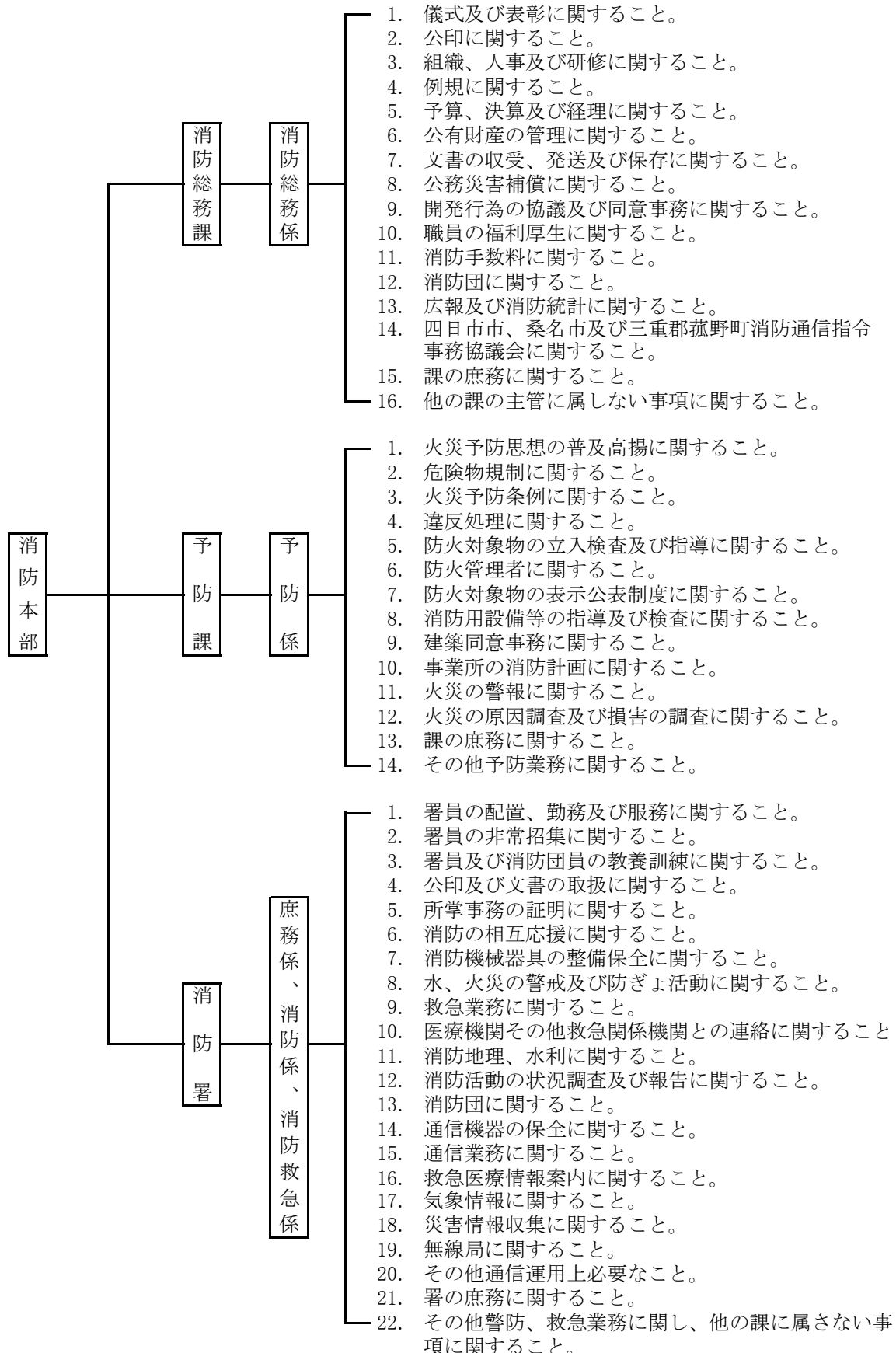
初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月 31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月 31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月 31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月 31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月 31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月 31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月 27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月 31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月 31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月 31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月 31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日	現在に至る	

平成29年中の主な行事

- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| 2. 24 | 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔八風の里〕 |
| 2. 26 | 防火広報〔町内一円〕 |
| 3. 1～3. 7 | 春の火災予防運動 |
| 4. 2 | 消防辞令交付式〔農村センター体育館〕 |
| 5. 19 | 菰野町防火協会理事会総会〔農村センター研修室〕 |
| 5. 28 | 菰野町水防訓練〔菰野町役場南 三滝川河川敷〕 |
| 5. 31 | 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔鈴秀工業株式会社三重工場〕 |
| 6. 4～6. 10 | 危険物安全週間 |
| 6. 25 | 菰野町消防団夏期訓練〔菰野町役場北駐車場〕 |
| 7. 26 | 消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕 |
| 8. 27 | 菰野町総合防災訓練〔町内一円〕 |
| 8. 30～9. 5 | 防災週間 |
| 9. 1 | 防災週間に伴う特別消防訓練〔ホテル・ド・マロニエ湯の山温泉〕 |
| 9. 3～9. 9 | 救急医療週間 |
| 9. 24 | 消防自動車写生大会〔消防本部〕 |
| 10. 13 | 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕 |
| 10. 26 | 集団救急救護訓練〔消防本部〕 |
| 11. 9～11. 15 | 秋の火災予防運動 |
| 11. 12 | 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔株式会社ムロコーポレーション菰野工場〕 |
| 12. 28～12. 31 | 年末特別警戒〔町内一円〕 |
| ※1. 15 | 消防出初式（大雪警報発表のため中止） |
| ※1. 24 | 文化財防火運動に伴う特別消防訓練（積雪のため中止） |

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

平成30. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	合計
平成26年度	420,660	41,595	94,947	65	557,267
平成27年度	444,465	42,957	259,525	65	747,012
平成28年度	470,568	39,298	47,989	50	557,905
平成29年度	491,685	43,527	57,285	50	592,547
平成30年度	500,483	42,052	16,768	50	559,353

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比率(%)
平成26年度	11,344,000	557,267	4.9
平成27年度	12,210,000	747,012	6.1
平成28年度	13,860,000	557,905	4.0
平成29年度	13,220,000	592,547	4.5
平成30年度	12,810,000	559,353	4.4

消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人口(人)	世帯(戸)	消防費(千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成26年度	41,329	15,387	557,267	13	36
平成27年度	41,419	15,636	747,012	18	48
平成28年度	41,540	15,828	557,905	13	35
平成29年度	41,803	16,089	592,547	14	37
平成30年度	41,820	16,284	559,353	13	34

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2)	2	△ 1
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	7	△ 2

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消防ポンプ自動車(1)	5人×3部制=15人	60	33	△ 27
		消防ポンプ自動車(2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	(兼 務 運 用)			
		はしご付き消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
	予 防 要 員		5	5	0	
	そ の 他 の 人 員		5	11	6	
	合 計		73	52	△ 21	

平成30.4.1現在

職員階級別、所属別配置状況

平成30. 4. 1現在

所属 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防総務課	1	1	4	2		6	14
予防課		1	1	2	1		5
消防署		3	14	3	5	8	33
合計	1	5	19	7	6	14	52

職員階級別勤続年数状況

平成30. 4. 1現在

勤続年数 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満						6	6
1年						2	2
2年						2	2
3年						2	2
4年						1	1
5年					2	1	3
6年							
7年					1		1
8年							
9年					1		1
10年				1			1
11年					1		1
12年					1		1
13年							
14年				2			2
15年							
16年				1			1
17年			2	1			3
18年							
19年			1	1			2
20年			2				2
21年			3				3
22年							
23年							
24年			5				5
25年			1				1
26年			1				1
27年							
28年			1				1
29年							
30年		1	1				2
31年							
32年							
33年	1	4	2	1			8
合計	1	5	19	7	6	14	52

職員階級別年齢状況

平成30. 4. 1現在

年 齢	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳						1	1
19歳						1	1
20歳						1	1
21歳							
22歳						3	3
23歳						4	4
24歳							
25歳						1	1
26歳						2	2
27歳						2	2
28歳					1		1
29歳					2		2
30歳							
31歳					2		2
32歳				2			2
33歳							
34歳							
35歳				1			1
36歳				2			2
37歳				1			1
38歳							
39歳			1				1
40歳			1				1
41歳			1				1
42歳			3				3
43歳			2				2
44歳			1				1
45歳			2				2
46歳			2				2
47歳							
48歳			2				2
49歳			1				1
50歳							
51歳							
52歳							
53歳		4	2				6
54歳							
55歳							
56歳							
57歳	1	1	1				3
58歳							
59歳							
60歳				1			1
合 計	1	5	19	7	5	15	52

平均年齢 37.6 歳

消防本部(署)庁舎の概要

平成30. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積：6,226.17㎡)				
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟		
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
3 F	(P.H) 21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡	
4 F			32.4㎡		

現有消防車両

平成30. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量(cc)	車両総重量(kg)	免許区分
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	19,120	大型
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	11,470	大型
水槽付ポンプ車		日野	水-IA型	三重800は1184	H19. 1. 29	6,400	9,390	中型
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車		日産	高規格	三重830す1711	H29. 11. 17	3,490	3,295	普通
救急2号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	3,265	普通
救急予備車		日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	3,235	普通
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	2,100	普通
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	4,905	普通

通信施設状況

平成30. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菰野町消防本部、消防署	車載移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	携帯移動無線局 (デジタル)	15局	菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防団車載移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	半固定無線局 (デジタル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菰野波1~2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菰野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波、統制波1~3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	33局	こもの310~339、こもの300~302 署活1~2、消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	A S Kメール発信システム	1式	「菰野町行政情報メール」と連動
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	救急車積載携帯電話	6台	
	衛星携帯電話	2台	
	携帯電話	2台	本部1、署1
	三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch
順次指令装置		6回線 12ch	指令台連動
消防テレフォンガイド		1回線 2ch	指令台連動 NTTテレトキーにより同時に5回線受信可能
F A X 1 1 9		1台	
指令メール		1式	火災指令メール
Eメール119受信装置		2台	

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部、桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

平成30. 4. 1現在

水 利		地 区	菰 野	鶴川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	81	98	122	111	584
	管 径 100 mm		150	44	38	112	75	419
	管 径 150 mm 以上		159	62	36	85	82	424
	合 計		486	187	173	319	270	1,435
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満		2		2	6	2	12
	容 量 20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満		22	3	7	13	4	49
	容 量 40 m ³ 以 上		4	2	1	5	8	20
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		40	8	13	29	18	108
自 然 水 利	河 川		53	17	11	73	58	212
	池		10	2	3	19	12	46
	合 計		63	19	14	92	70	258

各種訓練実施状況

平成29年中

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		8	15	3
地 理 及 び 水 利		311	365	126
火 災 予 防		146	254	74
物 象		5	1	1
勤 務 要 綱		27	80	17
消 防 行 動		12	39	6
消 防 戦 術		111	361	66
消 防 機 械		351	1,098	234
実 施 訓 練		1,143	4,219	717
訓 練 礼 式		32	232	22
救 急 学		1,279	1,106	324
体 育		49	2,553	313

外部研修等派遣状況

平成29年度

派遣	区分	科 目	期 間	人 員
東京研修所		救急救命士新規養成課程（第53期）	29. 9. 1～30. 3. 12	1
三重県消防学校		初任科（第54期）救急科救急課程（第20期）	29. 4. 10～30. 12. 1	2
		救助科 救助課程（第27期）	29. 9. 11～29. 10. 12	1
		特別科 指揮課程（第5期）	29. 12. 4～29. 12. 8	2
		特殊災害科 特殊災害課程（第7期）	29. 12. 11～29. 12. 19	1
		火災調査科 火災調査課程（第17期）	30. 1. 15～30. 1. 26	1
		中級幹部科 中級幹部課程（第26期）	30. 1. 17～30. 1. 25	1
救 急		日本臨床救急医学会	29. 5. 26～29. 5. 28	1
		I C L S（心肺蘇生二次救命処置研修）	29. 6. 4	1
		J P T E Cプロバイダー更新コース	29. 7. 15	2
		J P T E Cプロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	29. 7. 15	1
		三重県病院前救護プロトコルの一部改正に伴う講習	29. 9. 5	2
		四日市市消防本部救急講習会	29. 9. 8	3
		I S L S 三重コース	29. 9. 16	1
		三重県救急救命統合コース（第1回M I E L S）	29. 10. 15	3
		救急コ・メディカルセミナー	29. 10. 20	3
		三重県臨床工学セミナー 初級心電図	29. 10. 22	1
		救急技術発表会	29. 11. 2	2
		三重県救急救命士指導者セミナー（第2回P C E C）	29. 11. 9	1
		全国救急隊員シンポジウム	29. 11. 21～29. 11. 22	1
		三重県救急救命士指導者セミナー	29. 12. 3	1
		救急救命士業務実地修練	30. 1. 14～30. 1. 19	1
		M C L S（多数傷病者対応研修）	30. 2. 10	1
		救急救命士ブラッシュアップ講習	30. 2. 20	3
	救 助		アリゾナボーテックスフレーム講習	29. 7. 12～29. 7. 13
		アドバンスドロープレスキュー I	29. 9. 25	2
		第20回全国消防救助シンポジウム	29. 12. 12	1
予 防		違反是正研修会	29. 8. 2	2
		地下タンク等定期点検技術初回講習	29. 8. 4	1
		高圧ガス講習会	29. 10. 17	1
		火災調査研究発表会	29. 10. 19	1
		消防法令違反是正事例発表会	29. 10. 24	1
		製品安全業務報告会	29. 11. 9	1
		消防設備等保守点検業務研修会	29. 12. 6	1
		東海地区消防機関事故原因究明技術研修会	30. 1. 11	1
	消防法令違反是正研究会	30. 1. 19	2	
そ の 他		大型自動車免許取得（普通免許所持）	29. 5. 10～29. 7. 21	1
		大型自動車免許取得（中型免許所持）	29. 5. 10～29. 6. 3	1
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	29. 6. 28～29. 6. 30	1
		緊急自動車ドライバー安全運転研修	29. 11. 28～29. 11. 29	1

応急手当普及啓発活動実施状況

菟野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度	10	351	5	93		
平成8年度	16	330	7	78		
平成9年度	18	384	10	130		
平成10年度	12	310	8	90		
平成11年度	14	942	8	142		
平成12年度	14	382	11	206		
平成13年度	9	257	13	151		
平成14年度	9	396	24	408		
平成15年度	14	592	13	197		
平成16年度	17	828	16	263		
平成17年度	9	1,094	33	480	1	12
平成18年度	15	734	59	840	5	60
平成19年度	16	461	60	989	3	57
平成20年度	4	226	71	1,013	4	72
平成21年度	11	262	44	592	3	45
平成22年度	7	302	35	512	2	38
平成23年度	9	319	45	699		
平成24年度	11	468	39	628	2	26
平成25年度	6	276	37	571	1	29
平成26年度	17	459	45	564	3	28
平成27年度	21	526	47	636	3	42
平成28年度	12	427	42	555	3	19
平成29年度	17	671	49	674	3	16
合計	288	10,997	721	10,511	33	444

自主防災組織

平成30. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	{	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成 390人)
		鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成 77人)
		竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月1日結成 72人)
		朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月1日結成 150人)
		千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成 125人)
<hr/>		合計 5隊 総員 814人

(2) 自 警 団
<hr/>
合計 32団 総員 709人

菰 野 地 区	{	神 明 区 (16 人)
		菰 野 第 一 区 (37 人)
		菰 野 第 三 区 (131 人)
		宿 野 区 (18 人)
		福 村 区 (50 人)
		神 森 区 (14 人)
<hr/>		計 6 団 総員 266 人

鵜 川 原 地 区	{	大 強 原 区 (14 人)
		下 村 区 (15 人)
		川 北 区 (16 人)
		池 底 区 (12 人)
		吉 沢 区 (10 人)
		諏 訪 区 (9 人)
<hr/>		計 6 団 総員 76 人

竹 永 地 区	{	竹 成 区 (11 人)
		永 井 区 (37 人)
<hr/>		計 2 団 総員 48 人

朝 上 地 区	{	榊 園 区 (13 人)
		松 涛 園 区 (12 人)
		小 島 区 (17 人)
		田 口 新 田 区 (10 人)
		美 山 区 (26 人)
		田 口 区 (9 人)
		日 丘 区 (20 人)
		切 畑 区 (4 人)
		一 本 木 団 地 (10 人)
		青 葉 台 区 (9 人)
<hr/>		計 10 団 総員 130 人

千 種 地 区	{	千 草 区 (22 人)
		音 羽 区 (14 人)
		潤 田 区 (34 人)
		三 滝 園 区 (40 人)
		岡 区 (13 人)
		福 松 区 (19 人)
		奥 郷 区 (10 人)
		江 野 区 (37 人)
<hr/>		計 8 団 総員 189 人

緊急避難所

平成30. 4. 1現在

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
神明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22	059-392-2436	32
大羽根園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰野第一区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰野第二区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰野第三区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	25
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大強原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2	059-394-1269	44
諏訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	84
永井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
榑	榑公会所	大字榑303		16
松涛園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小島	小島集落センター	大字小島1687-1	059-396-4118	33
田口新田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田口	田口公会所	大字田口2493		56
日丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根の平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一本木団地	一本木公会所	大字榑895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千草	千草公会所	大字千草2763	059-394-6280	50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499		79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10		56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

緊急避難所…有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティーセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティーセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	農村環境改善センター	大字潤田4418	059-394-3444	17

有効スペース(和室) 3㎡×1人

◎緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B & G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野保育園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園・菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	69
鵜川原地区	鵜川原幼稚園・鵜川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	36
竹永地区	竹永幼稚園・竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	51
朝上地区	朝上幼稚園・朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千種地区	千種幼稚園・千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	51

◎収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園、幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。

消防団



消防団員としての団体規律を養成し、消防機械器具の取扱いを習熟するために夏期訓練を実施しました。各分団は、日頃の訓練成果を存分に発揮し見学者に士気の高さを披露しました。

菰野町消防団夏期訓練

平成29年6月25日

於：菰野町役場北駐車場

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割をはたしています。

平成29年中における主な活動は、火災出動20回の内、消防団車両の出動は14回、延べ出動人員544人。その他、出初式、各種訓練、警戒、警備等に出動し活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

歴代消防団長(合併以降)

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日	至	平成29年 3月31日
七代	増田 富雄	自	平成29年 4月 1日	至	平成29年11月21日
八代	服部 卓美	自	平成30年 1月 1日		現在に至る

消防団の機構、団員数

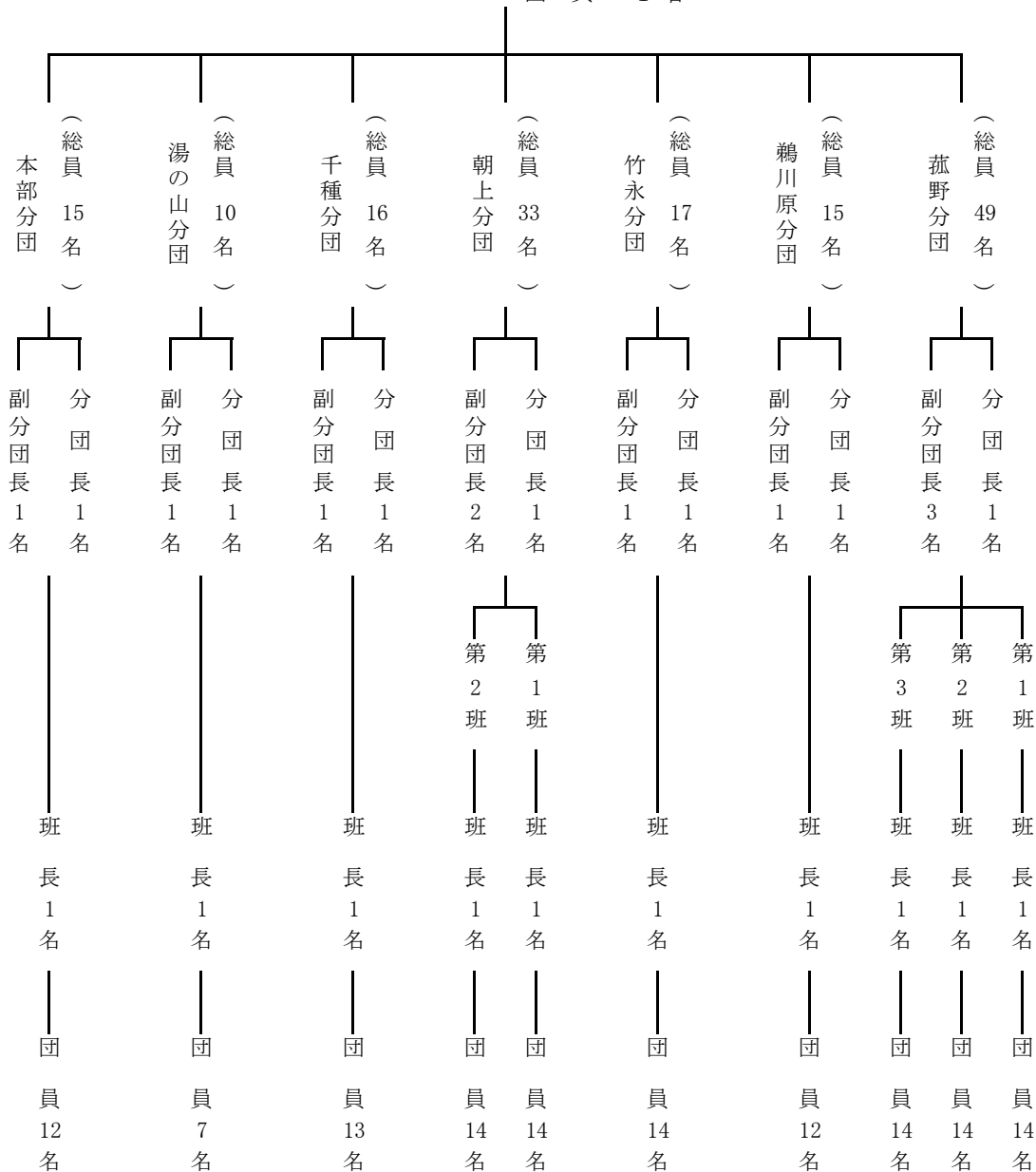
平成30. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団（10班）
 団員定数 168名
 現有団員数 159名

菰野町消防団

（総員 159名）

消防団本部 団長 1名
 副団長 2名
 団員 1名



年齢別及び階級別消防団員数

平成30. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18 歳 ~ 20 歳						1	1
21 歳 ~ 25 歳						21	21
26 歳 ~ 30 歳						41	41
31 歳 ~ 35 歳				2	6	40	48
36 歳 ~ 40 歳			3	3	2	15	23
41 歳 ~ 45 歳			3	4	2	10	19
46 歳 ~ 50 歳				1			1
51 歳 ~ 55 歳		1	1			1	3
56 歳 ~ 60 歳	1	1					2
61 歳 ~ 65 歳							0
合 計	1	2	7	10	10	129	159

平均年齢 33.1 歳

在職年数別消防団員数

平成30. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 員 数	55	46	36	13	3	4	2	159

消防団員報酬

平成30. 4. 1現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員各種手当

平成30. 4. 1現在

項 目	水 火 災	訓 練	警 戒	ポンプ点検	車両検査	賄 手 当
1 回 当 り の 手 当 (円)	5,000	2,000	1,000	700	700	700

※水火災については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

消防団員職業別構成表

平成30. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	8	102	32	17	159

消防団消防車両配置状況

平成30. 4. 1現在

区分 分団名	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
菰野分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4,770	4,460	準中型
菰野分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2,990	4,730	準中型
菰野分団第3班	いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4,770	4,320	準中型
鵜川原分団	いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2,990	4,620	準中型
竹永分団	いすゞ	CD-I	三重800さ4047	H13. 2. 7	4,570	4,470	準中型
朝上分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2,990	4,440	準中型
朝上分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4,770	4,690	準中型
千種分団	いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4,570	4,410	準中型
湯の山分団	いすゞ	CD-I	三重800さ4046	H13. 2. 7	4,570	4,470	準中型
本部分団	いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2,990	4,900	準中型
団本部	日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2,480	3,220	普通
〃	トヨタ	付積	三重 88ほ7972	H 7. 8. 30	1,990	2,290	普通
〃	日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1,590	1,735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

予防



多くの町民が集まる菰野町文化祭で消防ひろばを開催し、各種ブースを体験しながら防火、防災に対する関心を深めてもらいました。

菰野町文化祭（消防ひろば）

平成29年11月5日

於：菰野町町民センター憩いの広場

予 防

消防のなかで火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途		平成30. 4. 1現在			平成29. 4. 1現在			
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂又は集会場	38		38	38	38	
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ	遊技場 ダンスホール	6		6	6	6	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	待合、料理店						
	ロ	飲食店	46		46	46	46	
4		百貨店、マーケット又は店舗	70		70	69	69	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	105	11	116	106	11	117
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	204	14	218	201	14	215
6	イ	病院、診療所又は助産所	24	2	26	26	3	29
	ロ	老人短期入所施設等	11	3	14	12	3	15
	ハ	老人デイサービスセンター等	25		25	25		25
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2		2	2		2
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	29	2	31	29	2	31
8		図書館、博物館、美術館	5		5	5		5
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	1		1	1		1
	ロ	イ以外の公衆浴場	1		1	1		1
10		車両の停車場	4		4	4		4
11		神社、寺院、教会	44		44	44		44
12	イ	工場又は作業場	173	3	176	168	3	171
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫又は駐車場	13		13	13		13
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉庫	91		91	86		86
15		前各項に該当しない事業場	115	5	120	111	5	116
16	イ	特定複合用途防火対象物	30	2	32	30	2	32
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	10	1	11	10	1	11
合 計			1,047	43	1,090	1,033	44	1,077

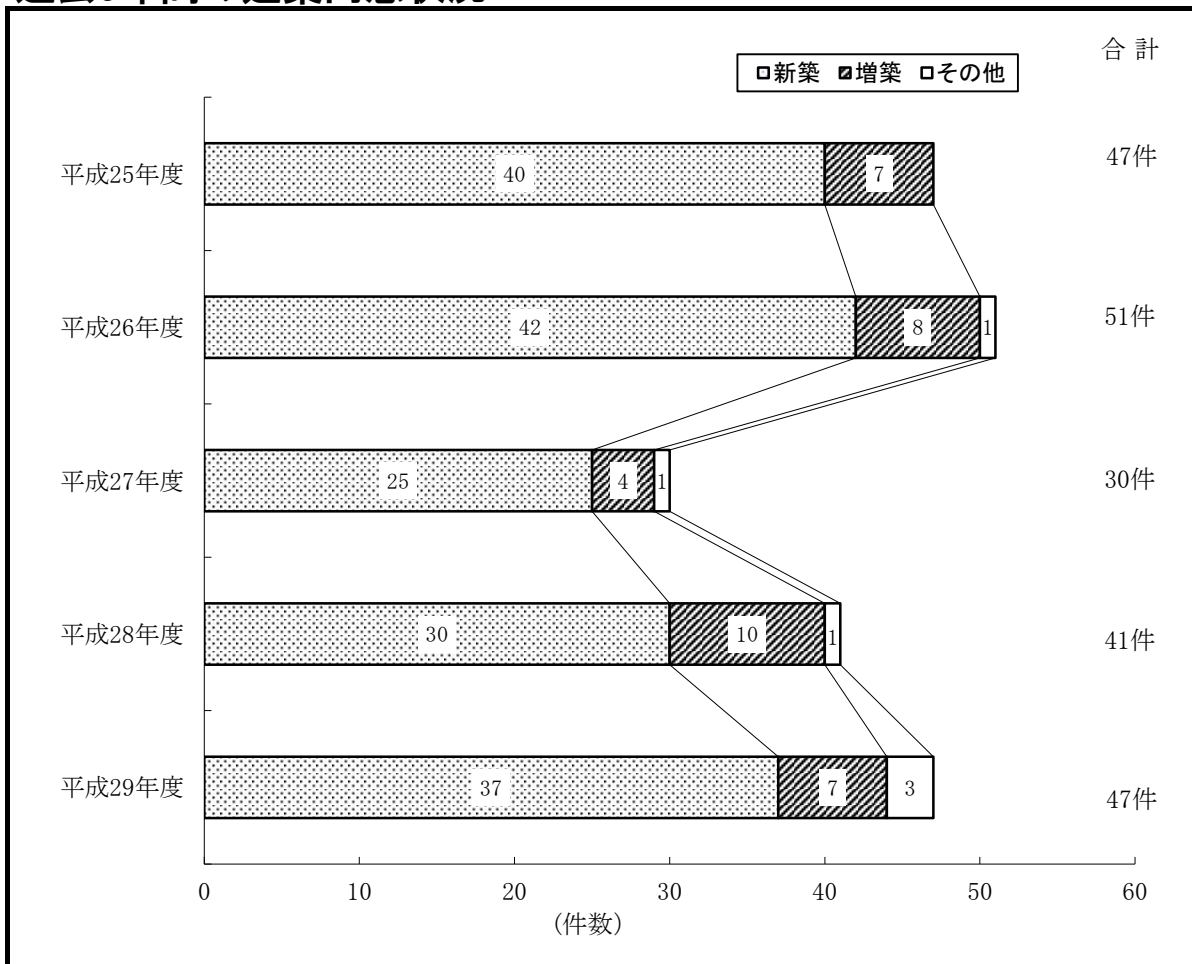
用途別建築同意状況

用途	月 別													29年度 合 計	28年度 合 計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場														
	ロ	公会堂又は集会場														
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ														
	ロ	遊技場 ダンスホール														
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
	ニ	カラオケボックス等														
3	イ	待合、料理店														
	ロ	飲食店													1	
4	百貨店、マーケット又は店舗														4	2
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所													1	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅													4	
6	イ	病院、診療所又は助産所													1	2
	ロ	老人短期入所施設等													1	2
	ハ	老人デイサービスセンター等													2	1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校														
7	小学校、中学校、高等学校、各種学校															
8	図書館、博物館、美術館													1		
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場														
	ロ	イ以外の公衆浴場														
10	車両の停車場															
11	神社、寺院、教会													1	3	
12	イ	工場又は作業場													5	9
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ														
13	イ	自動車車庫又は駐車場													1	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14	倉庫													8	6	
15	前各項に該当しない事業場													8	9	
16	イ	特定複合用途防火対象物													1	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物														
その他	住 宅													6	2	
	そ の 他													2	4	
合 計			5	8	1	5	6	3	5	5	1	4	4	47	41	

工事別建築同意状況

区分	工事種別					平成29年度 合計	平成28年度 合計
	新築	増築	改築	用途変更	その他		
同意	37	7		2	1	47	41
不同意							
合計	37	7		2	1	47	41

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

製造所等の別 区分		製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					29 年 度 合 計	28 年 度 合 計	
			小 計	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油		第 一 種 販 売	第 二 種 販 売			一 般
												営 業 用	自 家 用					
倍 数 別	検査済施設数	1	121	30	17	7	38	1	23	5	58	17	15		1	25	180	187
	5倍以下		57	10	4	7	25	1	8	2	12		3			9	69	70
	5倍超10倍以下		24	3	9		10			2	7					7	31	30
	10倍超50倍以下	1	20	4	4		3		8	1	22	4	12		1	5	43	46
	50倍超100倍以下		5		1				4		5	2				3	10	12
	100倍超150倍以下		7	4					3		2	2					9	12
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4
	200倍超1,000倍以下		3	3							7	7					10	9
	1,000倍超		4	4													4	4
類 別	第 1 類		1	1												1	1	
	第 2 類																	
	第 3 類																	
	第 4 類	1	119	28	17	7	38	1	23	5	58	16	16		1	25	178	183
	第 5 類		1	1													1	1
	第 6 類																	
	混 在																	2

危険物施設許可認可状況

製造所等の別 区分		許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届	
		設 置		変 更		設 置		変 更		29年度		28年度	
		29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
製 造 所													
貯 蔵 所	屋 内	2		1	2	2		1	2	1			
	屋外タンク	1										9	1
	屋内タンク												
	地下タンク											2	1
	簡易タンク												
	移動タンク		1										1
	屋 外	1				1							
取 扱 所	給 油	2	1	9	2	1	1	6	2	7	1	1	
	第一種販売												
	第二種販売												
	一 般	2	1	3	3	1		2	3	2	4		1
合 計		8	3	13	7	5	1	9	7	10	5	12	4

各種届出処理状況

平成29年度

区 分	件 数	区 分	件 数
防 火 管 理 者 選 解 任 届	56	蓄 電 池 設 備 設 置 届	5
消 防 計 画 書	61	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	312	水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 設 置 届	
液 化 石 油 ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	12	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	16
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	43	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	9
消 防 訓 練 実 施 届	132	毒 物 、 劇 物 貯 蔵 取 扱 届	1
炉 設 置 届		火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届	150
ボ イ ラ ー 設 備 等 設 置 届	15	煙 火 (打 上 げ 、 仕 掛 け) 届	8
発 電 設 備 設 置 届		消 防 用 設 備 等 着 工 届	65
変 電 設 備 設 置 届	15	消 防 用 設 備 等 設 置 届	58
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	29	露 店 等 の 開 設 届	57

消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	29 年 度	28 年 度
検 査 済 証	40	46

広報、啓発活動状況

平成29年度

区 分	回 数 等	延べ対象者数等
消 防 広 場 (菰野町文化祭)	1回	約4,000人
庁 舎 見 学	9回	294人
訓 練 指 導	52回	2,858人
一 人 暮 ら し 高 齢 者 防 火 訪 問	22件	22人
巡 回 広 報	11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊	2回	27,000部
写 生 大 会 、 防 火 習 字	各1回	811人
広報印刷物等	ポ ス タ ー	1,500枚
	チ ラ シ	2,300枚
	広 報 こ も の	8回 110,400部
	お 知 ら せ 版	15回 205,500部
そ の 他	の ぼ り	110日間 200本
	懸 垂 幕	21日間 3枚
	横 断 幕	50日間 20枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	28回 13,705台

【平成30年度全国統一防火標語】

「忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認」

【平成30年度危険物安全週間推進標語】

「この一球 届け無事故に みんなの願い」

火災



防災週間の一環として、大規模地震発生時に被害拡大が懸念される湯の山温泉の宿泊施設において特別消防訓練を実施しました。

防災週間に伴う 特別消防訓練

平成29年9月1日

於：ホテル・ド・マロニエ湯の山温泉

火 災

平成29年中は20件の火災が発生し、これら全火災での損害額は25,995千円でした。

火災件数は、前年に比べて6件増加しました。特に枯草等その他火災が6件増加しています。

なお、火災により2名の方が軽傷を負っています。

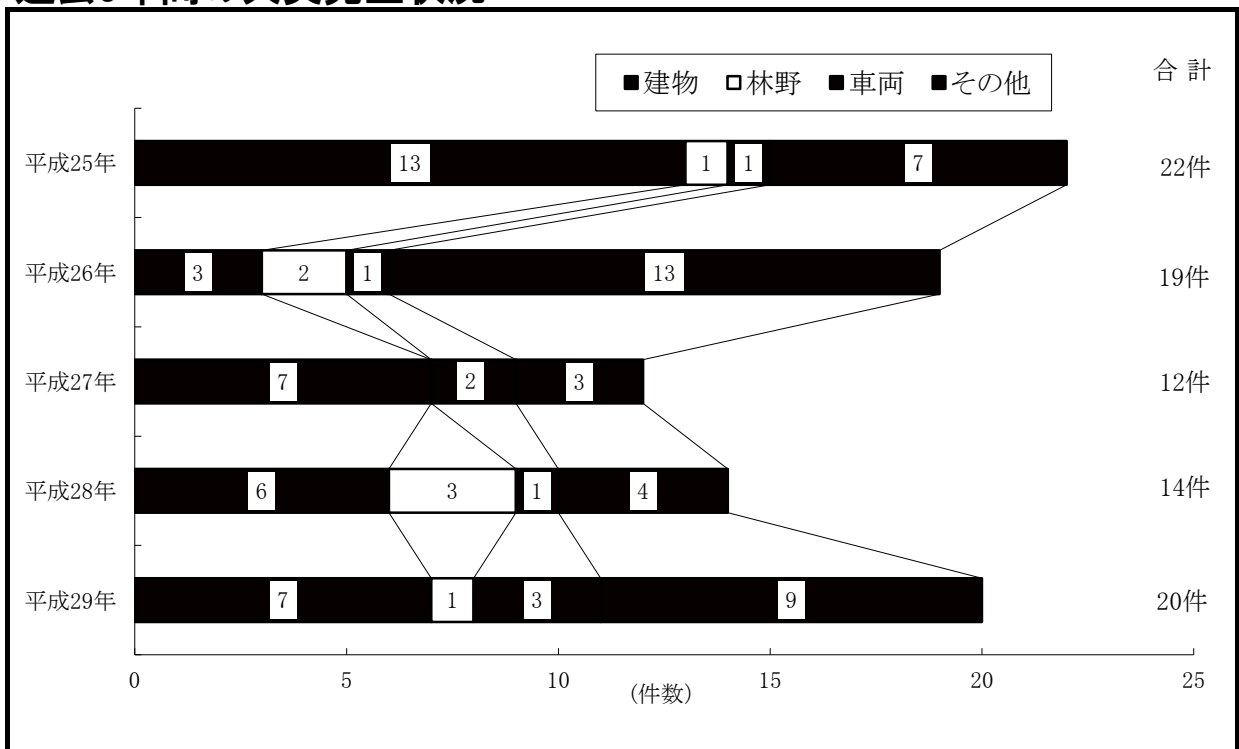
火災発生状況

区 分		年 別				
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
全 国	火 災 件 数	48,095	43,741	39,111	36,831	
	出 火 率	3.7	3.4	3.1	2.9	
	1件当り損害額(千円)	1,890	1,950	2,110	2,043	
三重県	火 災 件 数	843	797	604	654	
	出 火 率	4.5	4.3	3.2	3.5	
	1件当り損害額(千円)	1,614	2,258	2,901	1,981	
菰野町	火 災 件 数	22	19	12	14	20
	出 火 率	5.3	4.7	2.9	3.4	4.8
	1件当り損害額(千円)	2,601	656	2,624	1,888	1,300

※出火率＝出火件数/人口×10,000

※菰野町人口41,800人(平成29年12月31日現在)

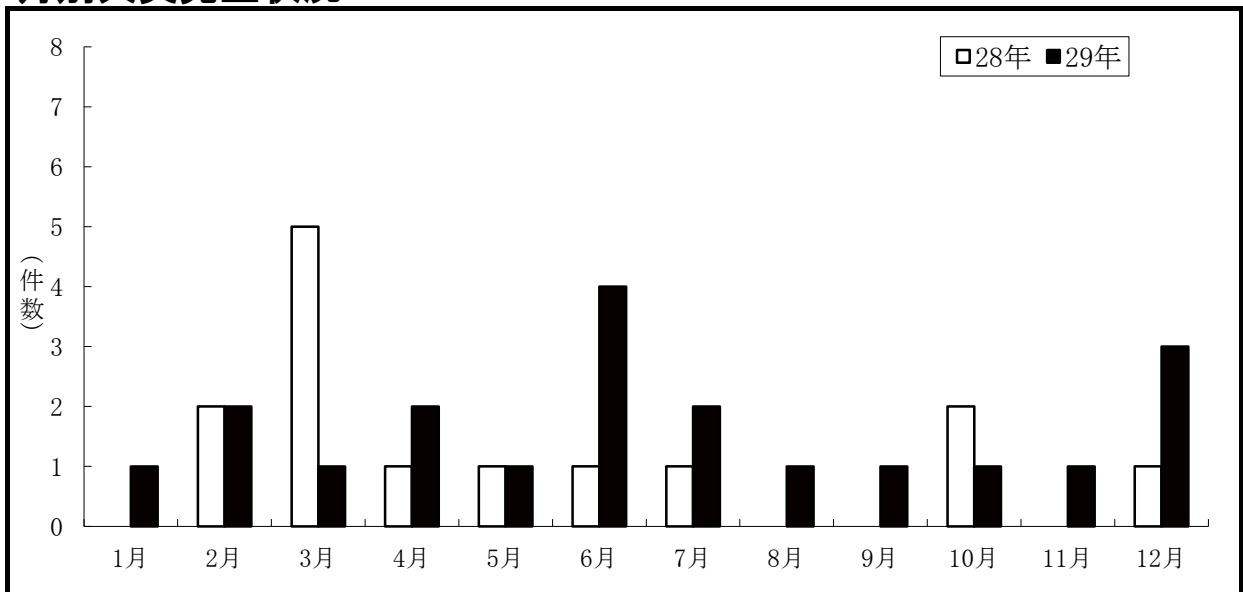
過去5年間の火災発生状況



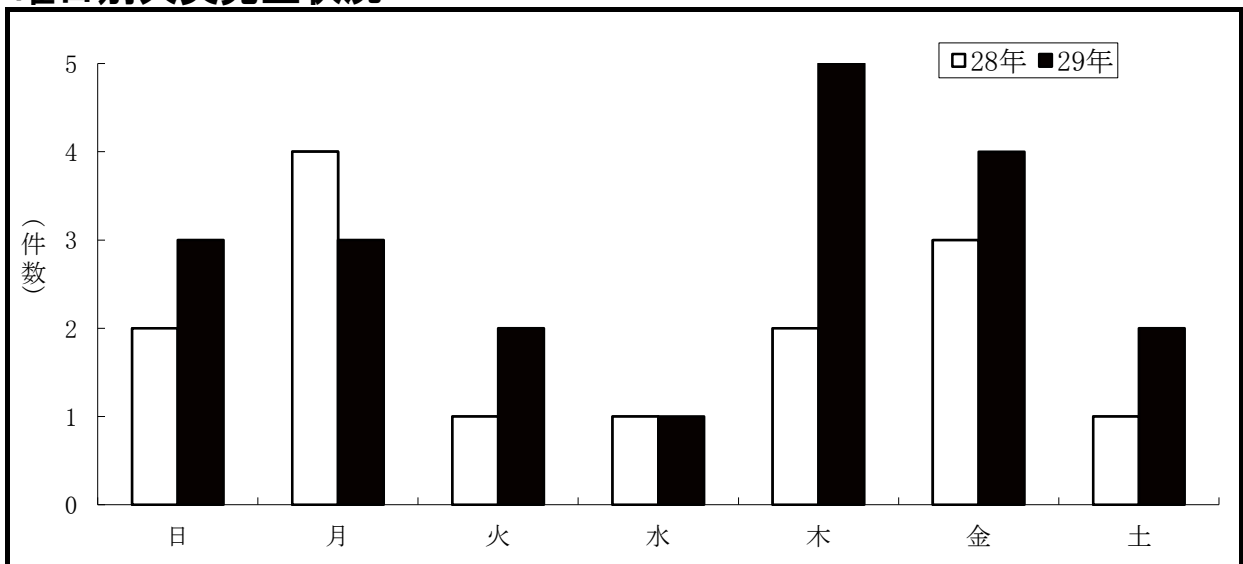
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯 数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車 両火災	そ の他 火災			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷者
菰野	5	1		1	3	22			1		1		4,392		1	
鶴川原	5	1			4	36	2		1		3	1	5,561			
竹永	2			1	1								4,547			
朝上	4	3			1	35	1		2		3	2	3,535			
千種	4	2	1	1		11	4	1			1	2	7,960		1	
合計	20	7	1	3	9	104	4	4	4	1	9	3	25,995		2	

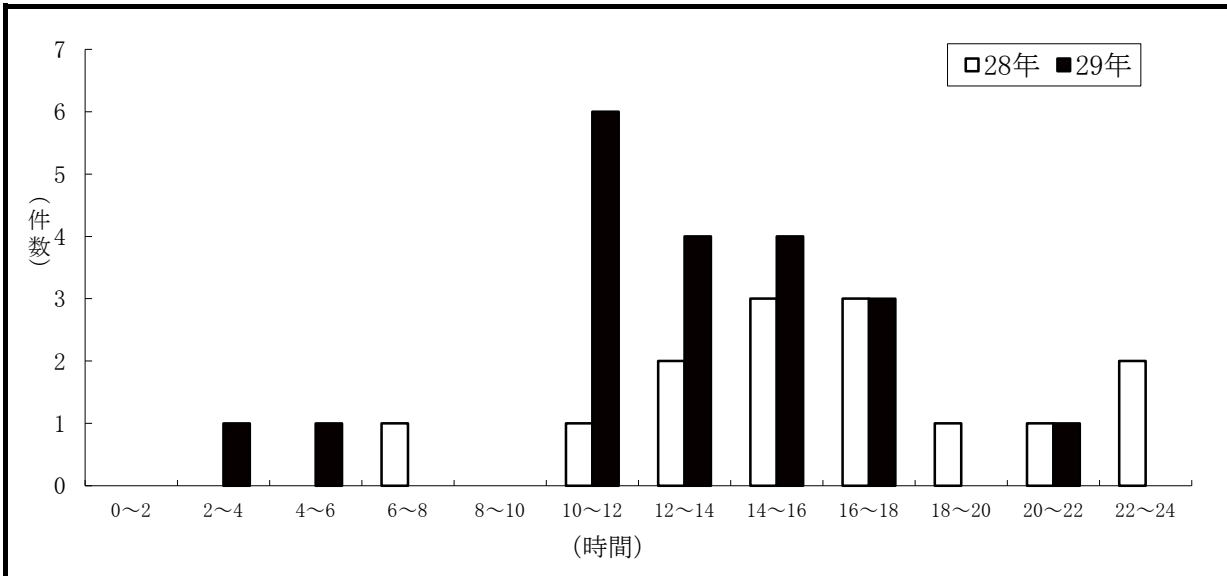
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

種別 区分	火 災					非 火 災				管外
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署単独出動	1	1		3	5	50	2		52	
第1出動	5		3	6	14					
第2出動										
第3出動										
事後聞知	1				1					
合 計	7	1	3	9	20	50	2		52	

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 危険物施設 航空機・林野	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
車両・特殊車両 危険物車両 枯草・その他	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び応援分団 4~5車両
	第3出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
中高層	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車・はしご車 4車両	地元分団及び本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車・はしご車 4車両	全分団 11車両
事後聞知		タンク車・指揮車 1~2車両	

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※ 覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)
1	その他	1月18日 10時35分	菰野 (湯の山)	報知電話	晴	東	1	4
2	車両	2月20日 12時55分	竹永 (永井)	報知電話	雨	北北西	2	8
3	その他	2月26日 11時50分	鵜川原 (吉沢)	報知電話	晴	北北西	1	10
4	その他	3月3日 12時40分	鵜川原 (大強原)	加入電話	晴	北北西	4	10
5	建物	4月3日 15時40分	千種 (奥郷)	報知電話	晴	北西	4	16
6	建物	4月5日 2時20分	鵜川原 (下村)	報知電話	晴	西北西	2	3
7	林野	5月19日 10時25分	千種 (潤田)	報知電話	晴	東南東	3	23
8	建物	6月1日 5時00分	朝上 (田光)	報知電話	晴	西北西	1	20
9	その他	6月5日 16時10分	鵜川原 (川北)	報知電話	晴	西北西	7	25
10	その他	6月15日 13時00分	菰野 (福村)	報知電話	晴	東南東	4	27

※ 報知電話 = 119番(携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

	湿度	出 火 原 因 等			被 害 状 況
	(%)	発 火 源	経 過	着 火 物	
	61	電力線	過多の電流を流す	その他	屋根の積雪が滑り落ち軒下の電力線を切断、その電力線が鋼板組立柱に接触して短絡し付近の電話配線を焼損
	60	不明	不明	不明	駐車中の車両7台及びコンテナを焼損
	33	枯れ草焼き	火の粉が散る 遠くへ飛び火する	枯草	竹谷川河川敷及び右岸の枯草を焼損
	33	不明	半断線により 加熱する	その他	電柱上部の電力線に接続する縁回し線を焼損
	33	枯れ草焼き	火の粉が散る 遠くへ飛び火する	枯草	周囲の下草及び資材倉庫を全焼 軽傷者1名
	76	油布	自然発火する	繊維製品	単管パイプ造平屋建て作業小屋及び軽量鉄骨造平屋建て事務所 全焼 隣接の木造2階建て店舗兼住宅 部分焼
	56	枯れ草焼き	火の粉が散る 遠くへ飛び火する	枯草	人工林の下草及び空地の枯草を焼損
	91	不明	不明	不明	木造2階建て専用住宅 部分焼
	36	たき火	消したはずのものが再燃する	枯草	空地、駐車場及び畔の枯草を焼損
	39	枯れ草焼き	消したはずのものが再燃する	枯草	田圃及び畔の枯草を焼損

火災発生状況及び出火原因状況

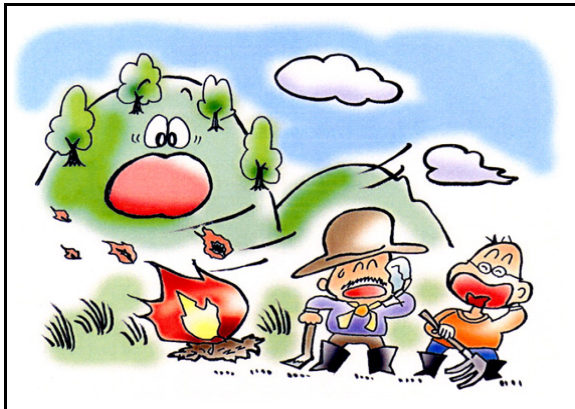
番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)
11	その他	6月24日 11時25分	竹永 (竹成)	報知電話	晴	南	2	25
12	建物	7月2日 15時05分	千種 (江野)	報知電話	雷雨	北北西	5	25
13	車両	7月18日 20時30分	千種 (福松)	加入電話	晴	西北西	1	28
14	その他	8月27日 13時20分	鶴川原 (吉沢)	報知電話	晴	南南西	3	29
15	その他	9月30日 13時05分	菰野 (菰野第一区)	報知電話	晴	北北西	6	24
16	建物	10月27日 15時30分	朝上 (杉谷)	報知電話	晴	南	3	19
17	その他	11月2日 16時45分	朝上 (杉谷)	報知電話	晴	西	2	16
18	車両	12月5日 17時37分	菰野 (菰野第二区)	報知電話	晴	西	5	7
19	建物	12月22日 11時20分	朝上 (杉谷)	報知電話	晴	東南東	1	8
20	建物	12月28日 10時15分	菰野 (菰野第二区)	報知電話	曇	北東	2	2

※ 報知電話 = 119番(携帯電話等含む)

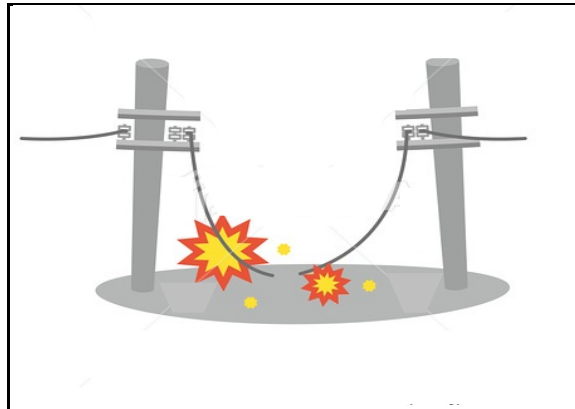
加入電話 = 一般加入電話

	湿度	出 火 原 因 等			被 害 状 況
	(%)	発 火 源	経 過	着 火 物	
	59	枯れ草焼き	火の粉が散る 遠くへ飛び火する	枯草	空地の枯草を焼損
	86	間接雷	落雷する	電線被類	落雷により分電盤へ過電流が流れブレー カの配線被膜とカバーを焼損 ぼや
	67	その他の高温の 個体	余熱で発火する	板	駐車中の大型トラックの荷台周辺を焼損
	54	不明	不明	不明	刈り取り済の草及び竹を焼損
	41	その他の火の粉	容器から火種が こぼれる	枯草	空地の枯草を焼損 軽傷者 1 名
	58	油脂 油布	自然発火する	繊維製品	木造平屋建て資材置き場及びアルミ製コ ンテナ倉庫 全焼
	67	枯れ草焼き	消したはずのものが 再燃する	枯草	空地の枯草及び屋外に置いてあった カーペットを焼損
	45	不明	スパークする	電気配線類	駐車中の普通乗用車を焼損
	56	かまど	火源が漏洩する	板張りベニヤ	木造 2 階建て専用住宅 部分焼
	86	ヘアー ドライヤー	本来の用途以外の 不適の用に用いる	繊維製品	木造 2 階建て専用住宅 部分焼

絵で見る火災原因（20件）



枯草・たき火 7件



電気・電話線 2件



自然発火 2件



かまど・焼却炉 2件



その他 4件



不明 3件

救急、救助



平成30年度供用開始予定の新名神高速道路における救急救助体制の強化を図るため、集団救急救護訓練を実施しました。高速道路での事故発生を想定し、安全迅速な活動スペースの確保、指揮初動体制の構築、迅速的確なトリアージによる早期搬送等、現場活動の手順を確認しました。

集団救急救護訓練

平成29年10月26日
於：菰野町消防本部

救 急

平成29年中の救急件数は1,480件、搬送人員は1,411人でした。1日あたり平均4件の出動で、町民31人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が977件(66%)で最も多く、続いて一般負傷が231件(15.6%)、交通事故が156件(10.6%)、その他が116件(7.8%)となりました。

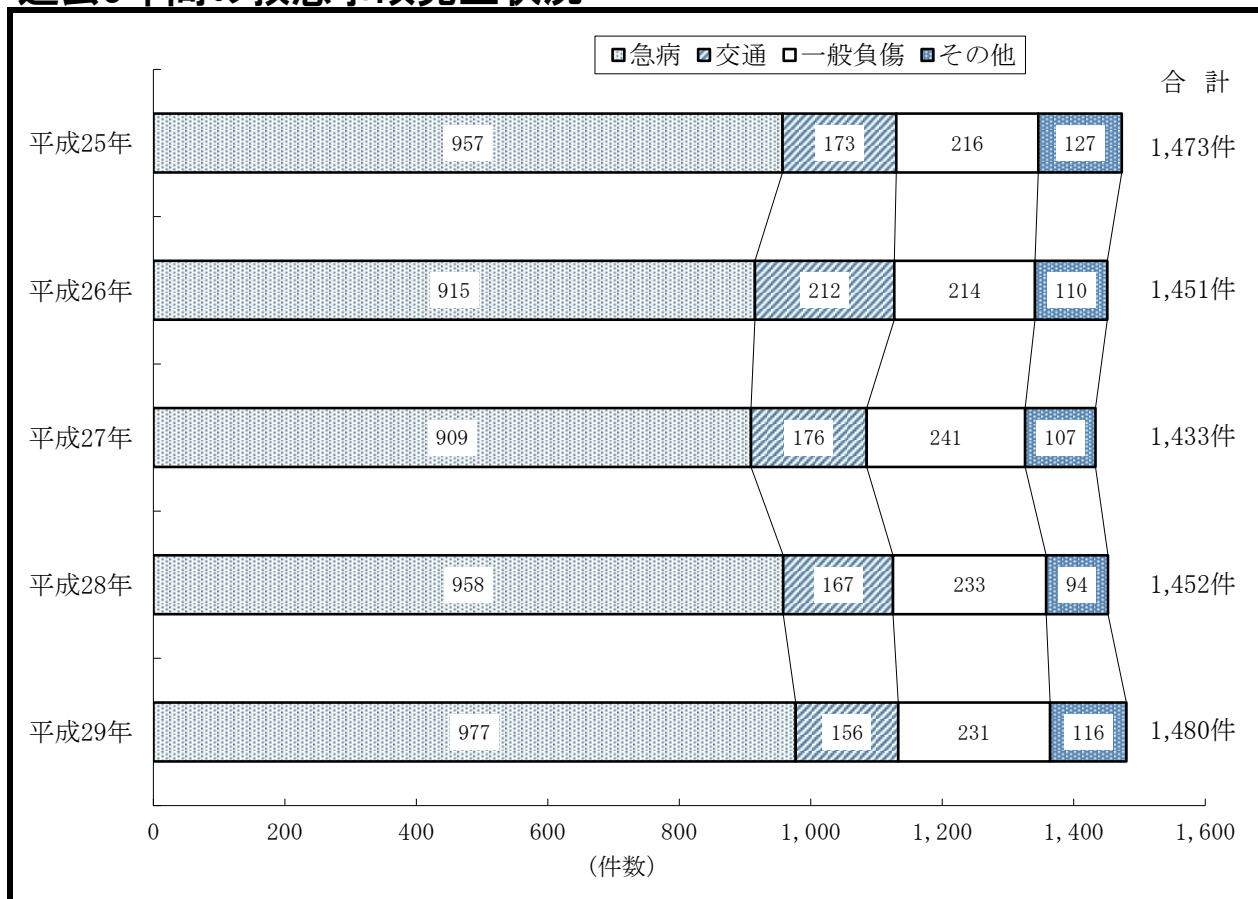
救急事故発生状況

年 別		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
全 国	救急件数	5,915,683	5,984,921	6,054,815	6,209,964	
	発生率	466	467	477	489	
三 重 県	救急件数	90,560	89,277	90,593	91,492	
	発生率	488	481	499	504	
菰 野 町	救急件数	1,473	1,451	1,433	1,452	1,480
	発生率	355	350	345	348	354

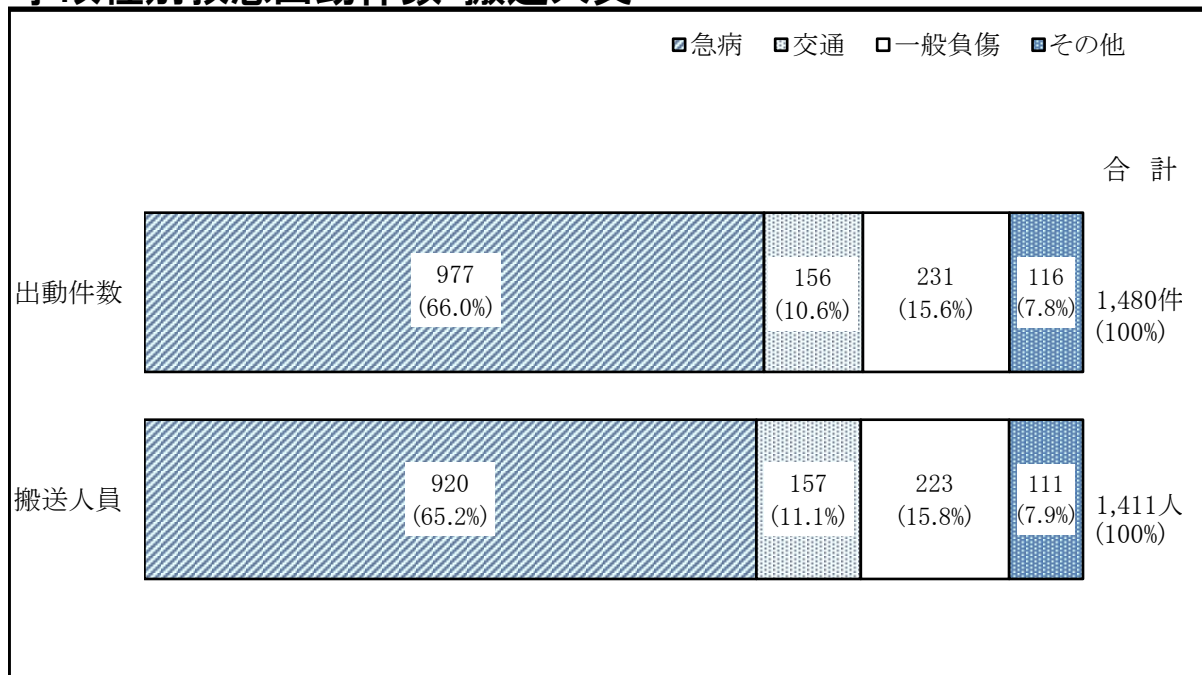
※発生率=救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,800人(平成29年12月31日現在)

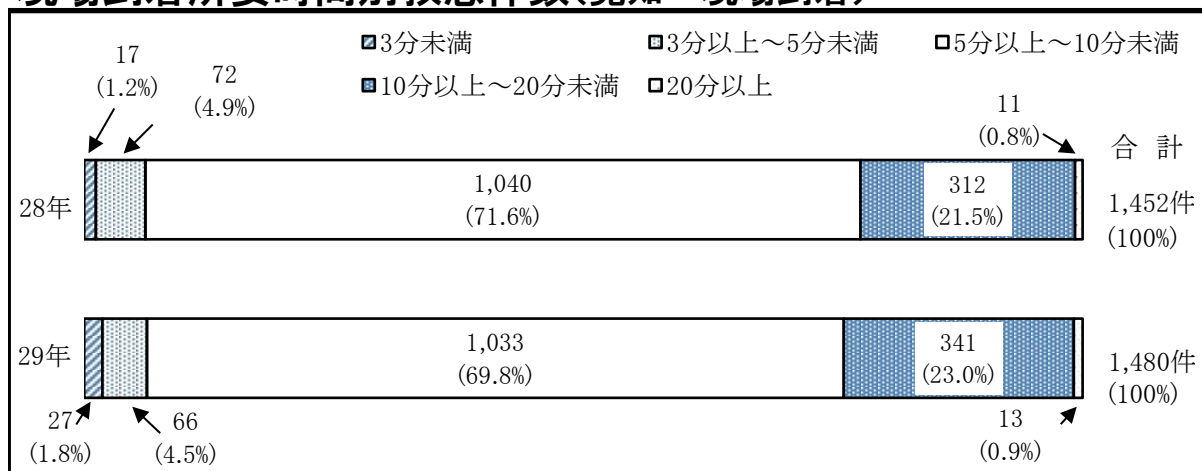
過去5年間の救急事故発生状況



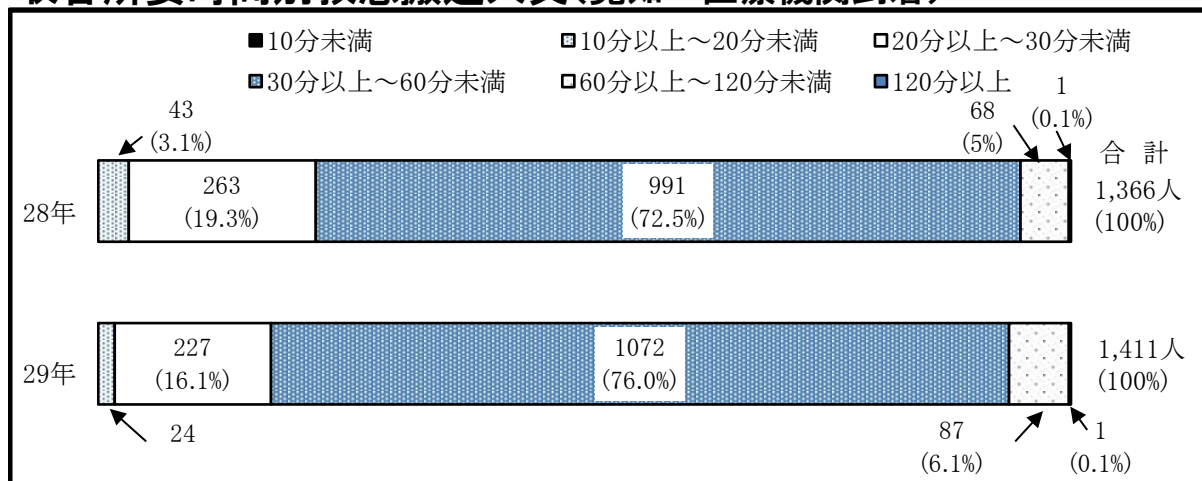
事故種別救急出動件数・搬送人員



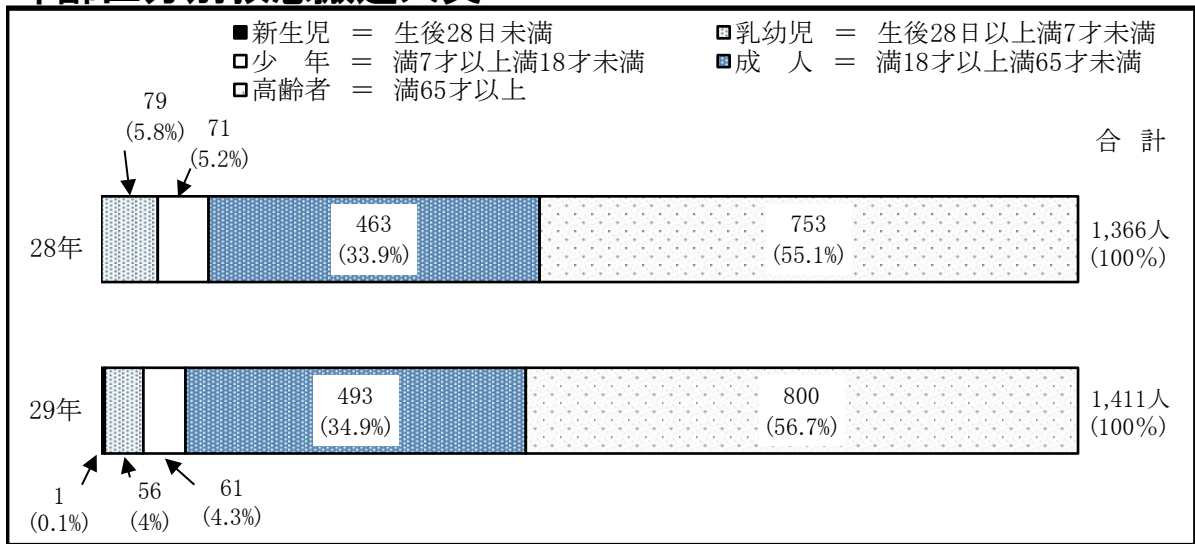
現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



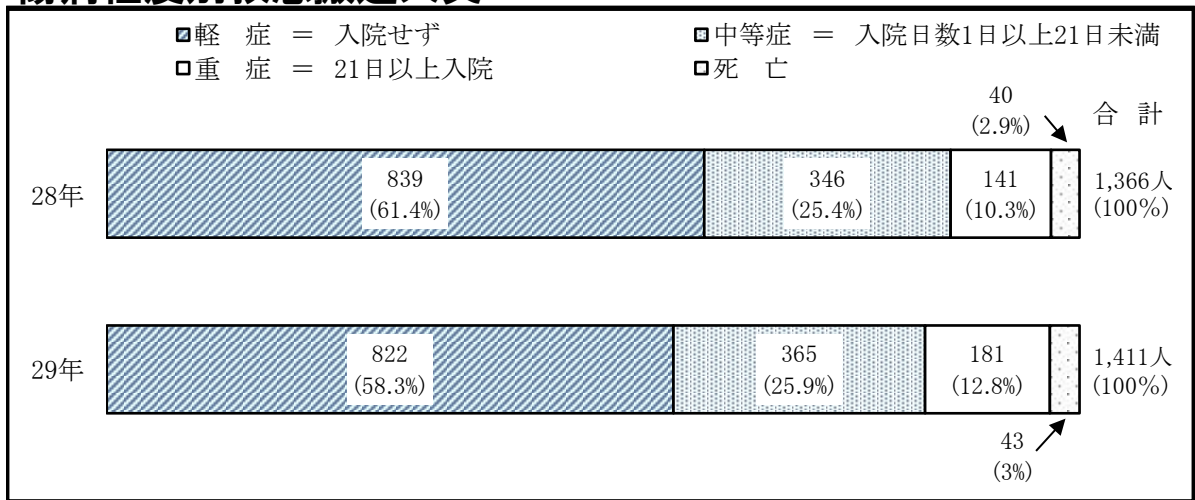
收容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



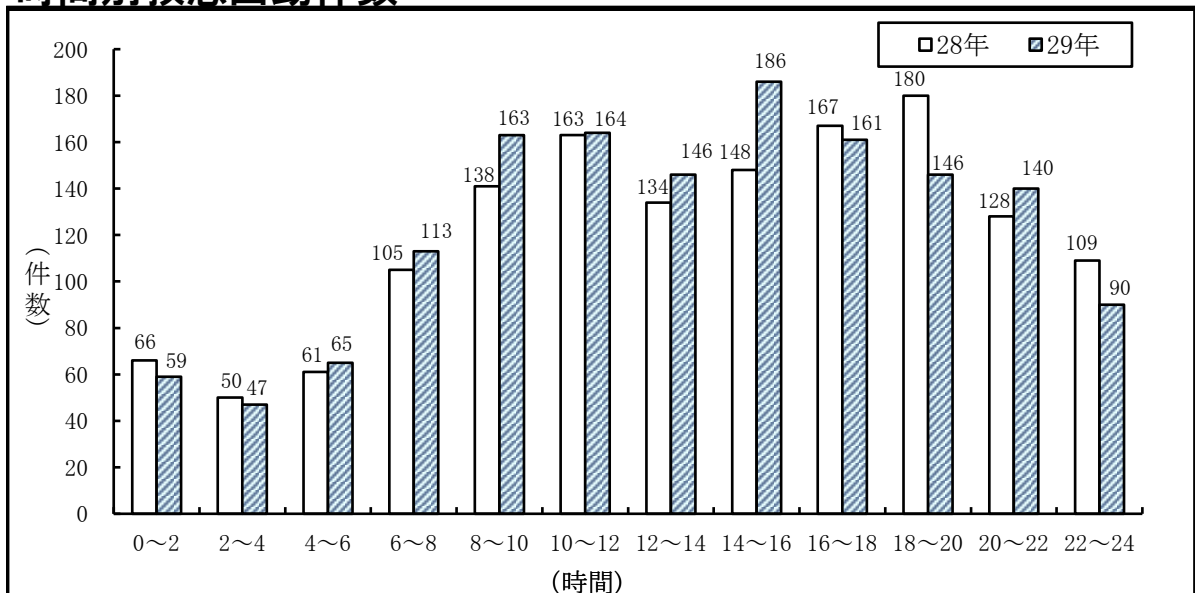
年齢区分別救急搬送人員



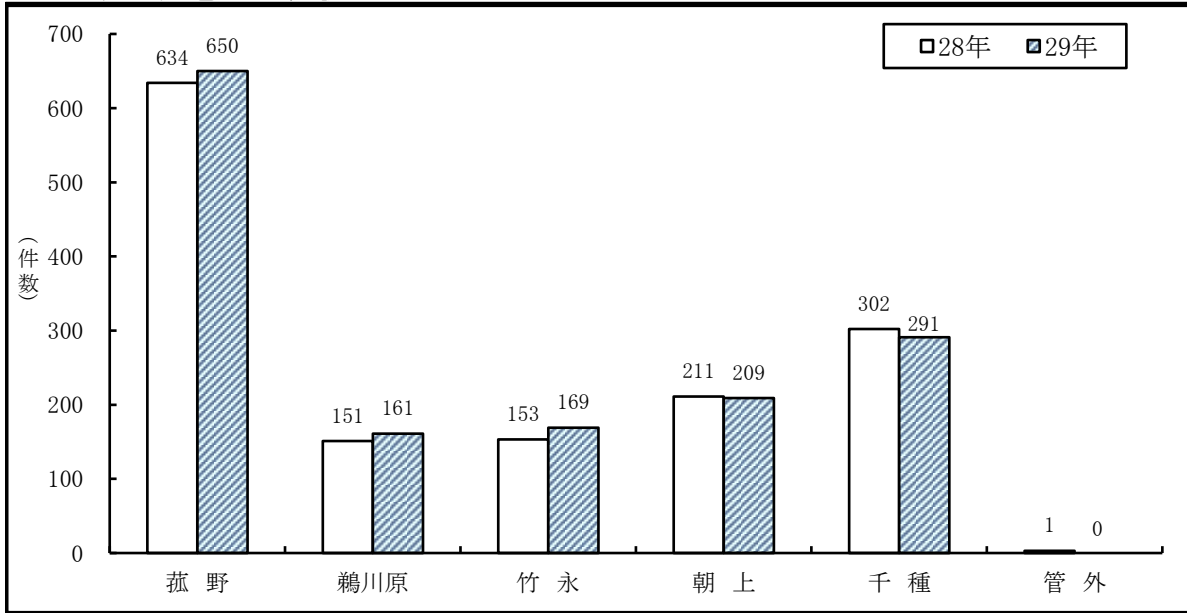
傷病程度別救急搬送人員



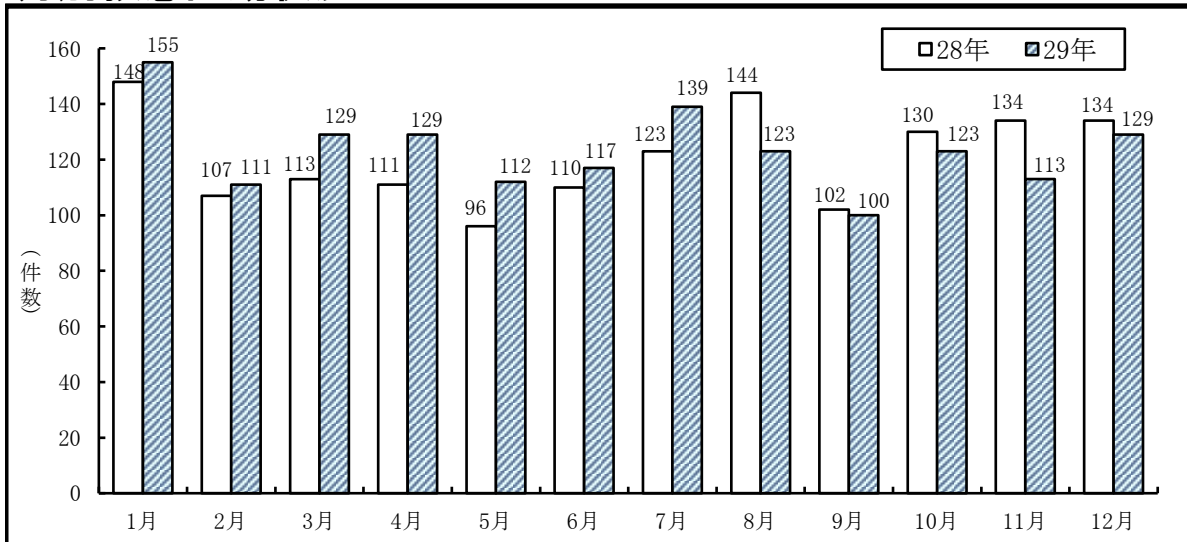
時間別救急出動件数



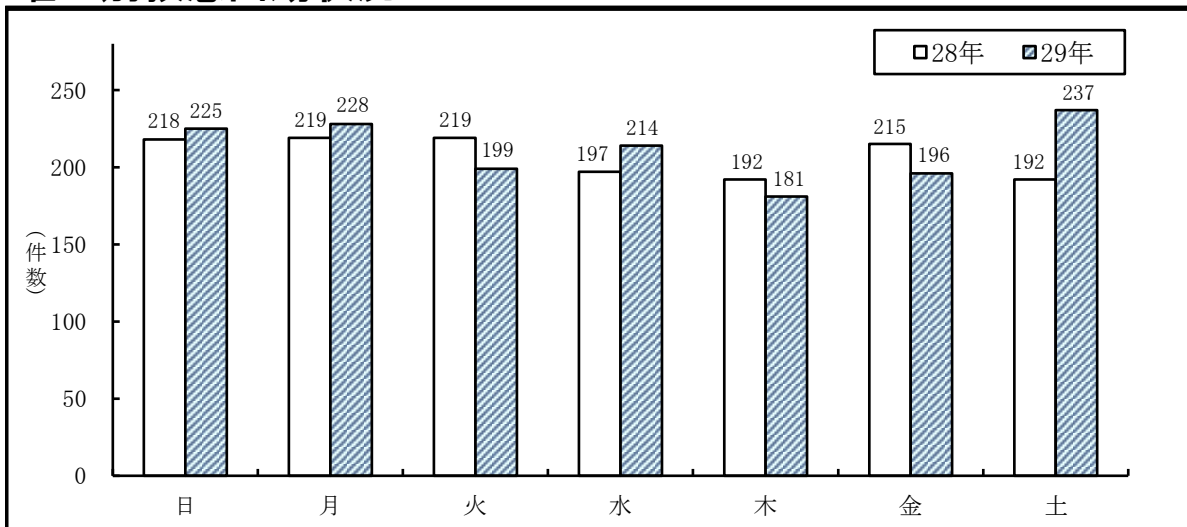
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	29年合計	28年合計
死亡				7	36	43	40
重症			2	40	139	181	141
中等症	1	9	10	105	240	365	346
軽症		47	49	341	385	822	839
その他							
合計	1	56	61	493	800	1,411	1,366

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	29年合計	28年合計
新生児										1		1	
乳幼児				6			10			40		56	79
少年				19		7	12			22	1	61	71
成人	1			96	21	2	63	2	3	285	20	493	463
高齢者	1			36	6	1	138		2	572	44	800	753
合計	2			157	27	10	223	2	5	920	65	1,411	1,366

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	29年合計	28年合計
死亡				1	1		1		3	36	1	43	40
重症				14	6		26			106	29	181	141
中等症				18	7	1	52		1	257	29	365	346
軽症	2			124	13	9	144	2	1	521	6	822	839
その他													
合計	2			157	27	10	223	2	5	920	65	1,411	1,366

事故種別、時間別救急出動件数

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	29年 合計	28年 合計
休 日				1	31	2	4	62	3	2	215	1	321	309
休日以外の日		2			125	25	6	169		5	762	65	1,159	1,143
時 間 内 訳	0～2				1			8			50		59	66
	2～4				3			8			36		47	50
	4～6				3			5			57		65	61
	6～8				14	4		12		2	81		113	105
	8～10				22	4	1	28			102	6	163	141
	10～12			1	15	5	4	30			97	12	164	163
	12～14	1			19	3	1	27			81	14	146	134
	14～16				25	7	2	32		3	103	14	186	148
	16～18	1			23	3	2	27			93	12	161	167
	18～20				15	1		23	2	1	99	5	146	180
	20～22				12			18			107	3	140	128
22～24				4			13	1	1	71		90	109	
29年計		2		1	156	27	10	231	3	7	977	66	1,480	
28年計					176	27	8	241	5	14	910	52		1,452

事故種別、応急処置件数

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血	8	19	45	12	84
固 定	17	121	87	22	247
人工呼吸	5			1	6
心肺蘇生	40		1	5	46
酸素吸入	254	9	21	38	322
気道確保	53		2	5	60
気道確保(特定行為)	5			1	6
保 温	424	66	109	48	647
被 覆	7	31	41	9	88
除 細 動	8				8
静脈路確保	37	3	3	3	46
薬剤投与	13			1	14
ブドウ糖投与	4				4
そ の 他	2,951	462	601	328	4,342
合 計	3,826	711	910	473	5,920

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等。

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		29年合計		28年合計		
	開設別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		
救急告示医療機関	国立		3	3					1	1	4	4	4	4	
	公立		506	506	80	80	108	108	70	70	764	764	676	676	
	公的		344	53	71	25	100	25	31	12	546	115	597	130	
	私的	病院		53	49	5	5	11	11	7	7	76	72	62	53
		診療所													
計		906	611	156	110	219	144	109	90	1,390	955	1,339	863		
その他の医療機関	国立														
	公立												1	1	
	公的		1	1							1	1	4	4	
	私的	病院		7	7	1	1	1	1	2	2	11	11	13	13
		診療所		6	5			3	2			9	7	9	6
計		14	13	1	1	4	3	2	2	21	19	27	24		
計	国立		3	3					1	1	4	4	4	4	
	公立		506	506	80	80	108	108	70	70	764	764	677	677	
	公的		345	54	71	25	100	25	31	12	547	116	601	134	
	私的	病院		60	56	6	6	12	12	9	9	87	83	75	66
		診療所		6	5			3	2			9	7	9	6
計		920	624	157	111	223	147	111	92	1,411	974	1,366	887		
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
29年計			920	624	157	111	223	147	111	92	1,411	974			
28年計			871	541	180	118	228	158	87	70			1,366	887	

救助出動状況

平成29年中は、39件の救助出動がありました。当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから山岳救助事案が多く発生しています。(山岳救助件数24件)

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別
1	交 通	1月 21日 5時 42分	菰 野 (宿 野)	加 入 電 話
2	その 他 (山 岳)	2月 25日 18時 12分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
3	その 他 (山 岳)	3月 18日 14時 22分	管 外 (四日市市水沢町)	報 知 電 話
4	その 他 (山 岳)	3月 22日 12時 03分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
5	その 他 (山 岳)	3月 25日 17時 56分	千 種 (千 草)	報 知 電 話
6	その 他	4月 1日 16時 20分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話
7	その 他 (山 岳)	4月 16日 13時 56分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
8	その 他 (山 岳)	4月 22日 15時 09分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
9	その 他 (山 岳)	5月 1日 12時 04分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
10	その 他 (山 岳)	5月 11日 15時 46分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
11	その 他 (山 岳)	5月 20日 16時 44分	朝 上 (田 口)	加 入 電 話
12	その 他 (山 岳)	5月 28日 13時 06分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
13	機 械	6月 5日 10時 29分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)
加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急予備車	3 3	自動車の単独事故で、1名が脱出困難となった	後部ハッチを開放し、介添えにて車外に救出した
	広報車 資機材搬送車	4 2	鎌ヶ岳馬の背尾根を下山中に遭難し、衰弱して動けない状態になった	自力歩行にて登山口まで救出した
	広報車	4	雲母峰を下山中に転倒した	担架に収容し、登山口まで救出した
	広報車 資機材搬送車 救急1号車	4 2 3	御在所岳裏道を登山中に滑落した	担架に収容し、登山口まで救出した
	広報車 救急1号車	4 3	根の平峠伊勢谷を下山中に足首を捻って動けない状態になった	背負い搬送にて登山口まで救出した
	救助工作車 救急2号車	4 3	金溪川に転落した	先着の救急隊等により救出した
	広報車	4	御在所岳裏道を下山中に転倒した	先着の防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	国見岳国見尾根を下山中に遭難し、体力を消耗して動けない状態になった	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	御在所岳中道を下山中に滑落した	先着の防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	御在所岳中道を登山中、両下腿の痙攣が発症して動けない状態になった	先着の防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	福王山を下山中に滑落した	先行していた警察隊により旧福王カントリークラブ前まで救出した
	広報車	4	御在所岳表道を下山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車 資機材搬送車 救急1号車	4 2 3	横転した重機と地面との間に右下腿部が挟まれた	重機の固定後、地面を掘って救出した

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
14	その他 (山岳)	6月 14日 13時 10分	菰野 (湯の山)	加入電話	
15	その他 (山岳)	7月 2日 16時 02分	菰野 (湯の山)	加入電話	
16	その他 (山岳)	7月 2日 16時 17分	菰野 (湯の山)	加入電話	
17	交 通	7月 14日 8時 15分	千種 (潤田)	報知電話	
18	その他 (山岳)	7月 16日 16時 36分	菰野 (湯の山)	報知電話	
19	その他 (山岳)	7月 22日 19時 29分	菰野 (湯の山)	報知電話	
20	その他 (山岳)	8月 11日 7時 08分	菰野 (湯の山)	報知電話	
21	その他 (山岳)	8月 11日 16時 45分	菰野 (湯の山)	加入電話	
22	その他 (山岳)	8月 13日 20時 22分	菰野 (湯の山)	加入電話	
23	その他	8月 26日 7時 34分	朝上 (田光)	報知電話	
24	交 通	9月 6日 8時 39分	朝上 (小島)	報知電話	
25	その他 (山岳)	9月 14日 15時 27分	菰野 (湯の山)	報知電話	
26	交 通	9月 17日 13時 55分	鵜川原 (吉沢)	報知電話	
27	その他 (山岳)	9月 24日 12時 03分	菰野 (湯の山)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)
 加入電話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳表道のガレ場で滑落した	先着の防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	御在所岳前尾根ルートで低体温により動けない状態になった	先着の防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	査察車	4	御在所岳裏道を下山中に滑落した	遭難事案であった為、警察隊に引き継いだ
	救助工作車 ポンプ車 救急2号車	5 3 3	自動車同士の事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力して車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	日向小屋にて発熱により動けない状態になった	担架に収容し、登山口まで救出した
	広報車 救急1号車	4 3	鎌ヶ岳馬の背尾根を下山中に滑落した	自力歩行可能であったため、誘導により登山口まで救出した
	広報車 査察車 救急2号車	4 4 3	御在所岳中道を下山中に滑落した	介添え搬送にて登山口まで救出した
	広報車 査察車	4 4	御在所岳裏道でスズメバチに襲われ、1名は左膝を刺され、もう1名が転倒して右肩を脱臼し動けない状態となった	介添え搬送にて登山口まで救出した
	広報車	4	御在所岳裏道を下山中に右足首を捻挫し動けない状態となった	介添え搬送にて登山口まで救出した
	救助工作車 救急1号車	4 4	水路へ転落した	救急不搬送事案の為、警察に引き継いだ
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	自動車の単独事故で、1名が脱出困難となった	既に車外に脱出済みであった
	広報車	4	御在所岳裏道を登山中に滑落した	背負い搬送にてピックアップポイントまで搬送し、防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急2号車	4 2 3 3	自動車同士の事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	事故車両に損傷も無く脱出可能であった
	広報車	4	鎌ヶ岳三ツ口谷を下山中、「救助要請の声を聞いた」との未確認通報	警察隊と捜索したが要救助者を発見できなかった

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
28	交 通	9月 26日 8時 39分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
29	その他 (山岳)	10月 9日 11時 43分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
30	その他 (山岳)	10月 10日 12時 51分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
31	交 通	11月 3日 20時 58分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
32	建 物	11月 14日 9時 39分	朝 上 (根の平)	報 知 電 話	
33	その他 (山岳)	11月 20日 15時 21分	千種 (千 草)	報 知 電 話	
34	その他	11月 23日 13時 13分	千種 (音 羽)	報 知 電 話	
35	水 難	12月 3日 11時 20分	千種 (千 草)	加 入 電 話	
36	交 通	12月 5日 16時 31分	菰 野 (宿 野)	報 知 電 話	
37	その他 (山岳)	12月 9日 15時 18分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
38	交 通	12月 18日 8時 05分	鶺川原 (大強原)	報 知 電 話	
39	交 通	12月 21日 9時 44分	千種 (千 草)	報 知 電 話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急2号車	4 3 3 3	自動車同士の事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力して車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	根の平峠伊勢谷でスズメバチに頭部と顔面を刺され、気分が悪くなり動けない状態となった	山岳連盟と協力して担架で登山口まで救出した
	広報車	4	国見岳国見尾根を下山中に滑落した	介添え搬送にてピックアップポイントまで搬送し、防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 2 3	自動車の単独事故で、1名が脱出困難となった	先着していた救急隊により車外に救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	建物入口が施錠されていることによる救急隊への支援	先行していた救急隊が開錠した
	広報車	4	釈迦ヶ岳松尾尾根を下山中に遭難し、動けない状態となった	先着の防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	作業中、転倒し地面から突き出していた鉄筋で背中を負傷した	救急隊と協力して担架で救急車まで搬送した
	救助工作車 救急1号車	5 3	「湖面に人が浮いている」との通報	担架に収容し、警察車両まで搬送し引き継いだ
	救助工作車 救急2号車	4 3	自動車道路から約2m下の河川敷に転落した	救急隊と協力して担架収容し、人力で道路まで救出した
	広報車	4	御在所岳中道を下山中、「救助要請の声を聞いた」との未確認通報	警察隊と捜索したが要救助者を発見できなかった
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	自動車同士の事故、事故車両1台が横転した	要救助者は既に車外に脱出済みであった
	救助工作車	4	自動車同士の事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	リアガラスを破壊し、車外に救出した

事故種別出動件数、救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	29 年 合 計	28 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			9	1		1	1			27	39	36
救 助 人 員			6	1		1				16	24	30

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	29 年 合 計	28 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			46	5		6	4			125	186	144
消 防 隊 員			7								7	15
救 急 隊 員			27	3		3	3			19	55	80
合 計			80	8		9	7			144	248	239

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	29 年 合 計	28 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			9	1		1	1			3	15	16
タ ン ク 車												
ポ ン プ 車			5								5	6
救 急 車			11	1		1	1			9	23	27
指 揮 車												
広 報 車										23	23	19
資 機 材 搬 送 車						1				2	3	1
そ の 他 の 車 両										3	3	2
合 計			25	2		3	2			40	72	71

※その他の車両とは、査察車と防災広報車

気象、通信



大雨による水害に備え、河川の越水危険が迫った場合を想定し、地域住民、消防団、関係機関等が合同で積み土のう工法の訓練を実施しました。

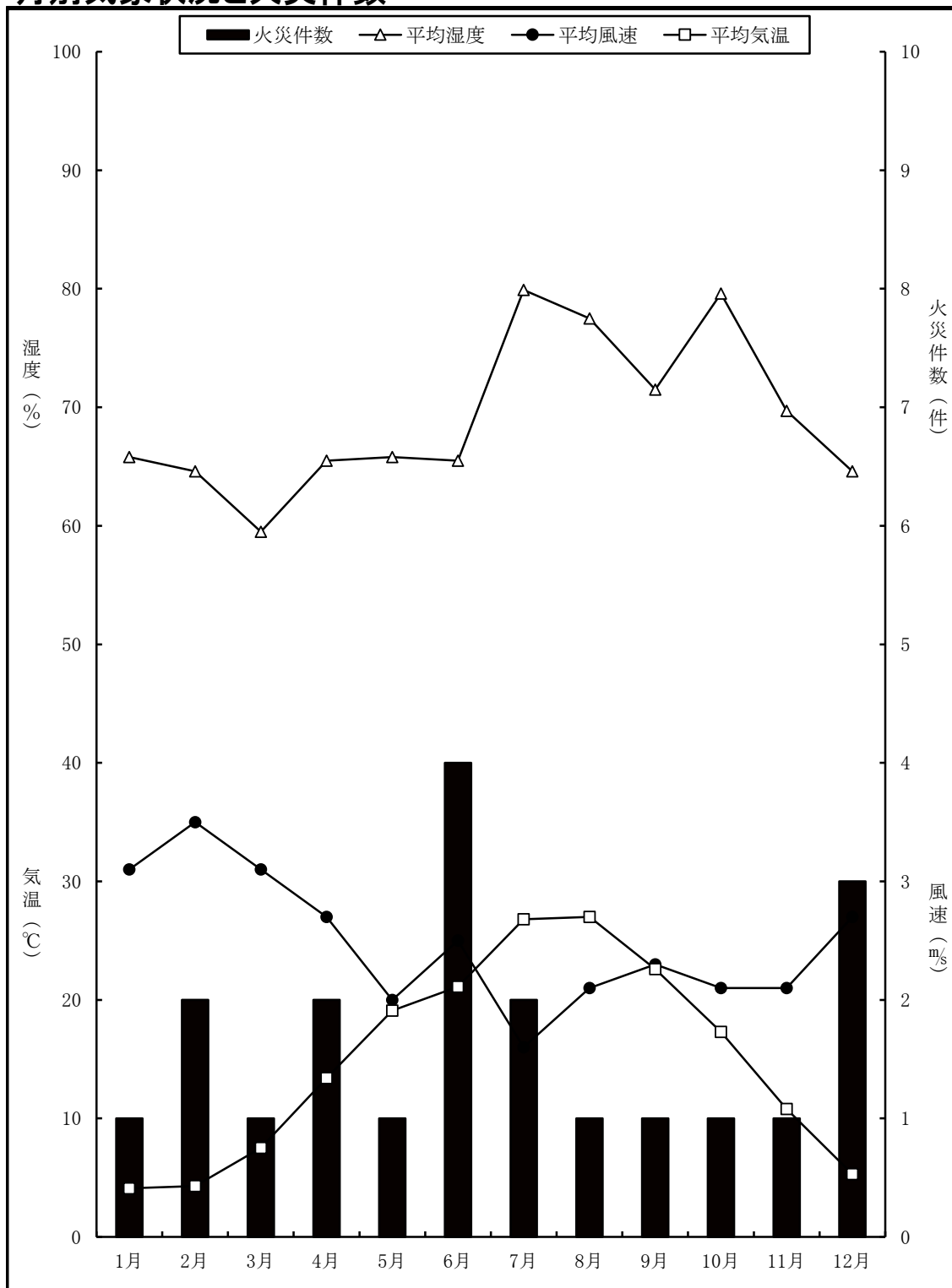
菰野町水防訓練

平成29年5月28日
於：三滝川河川敷

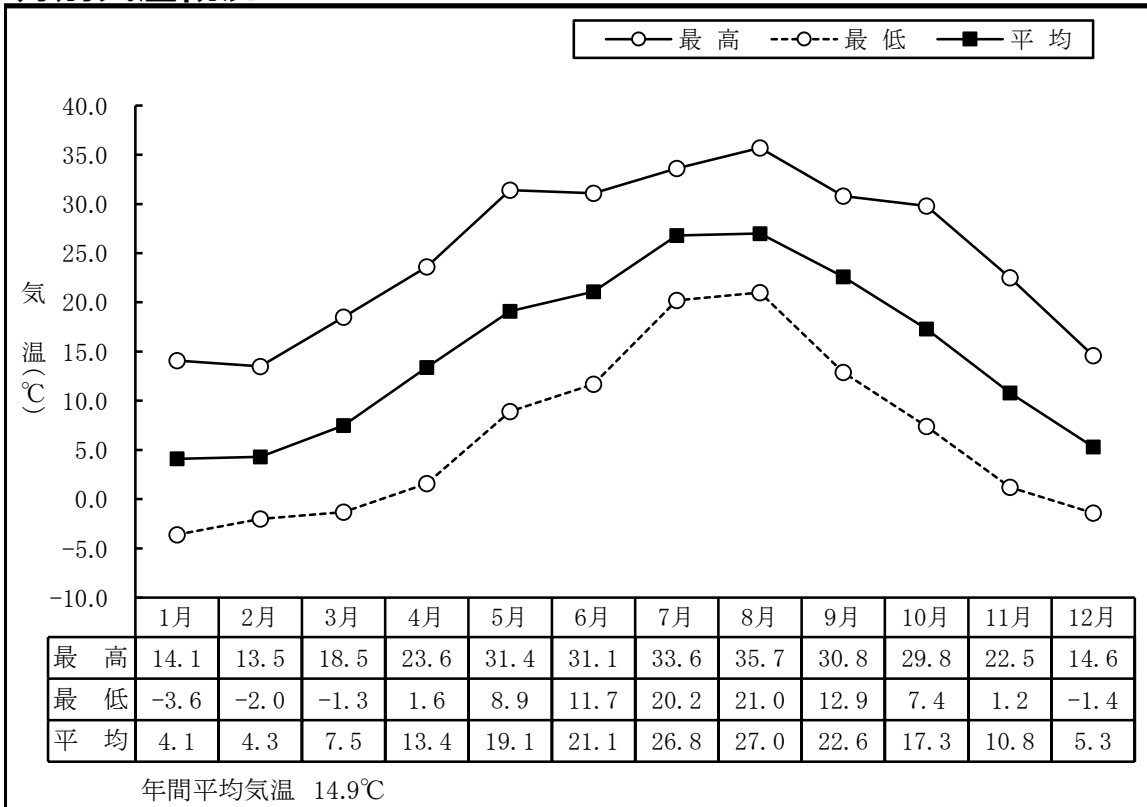
気象

開署以来、気象観測システムによる1時間毎の自動定時観測（風速・気温・湿度・降水量等）を行い日報・月報記録の作成を続けています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

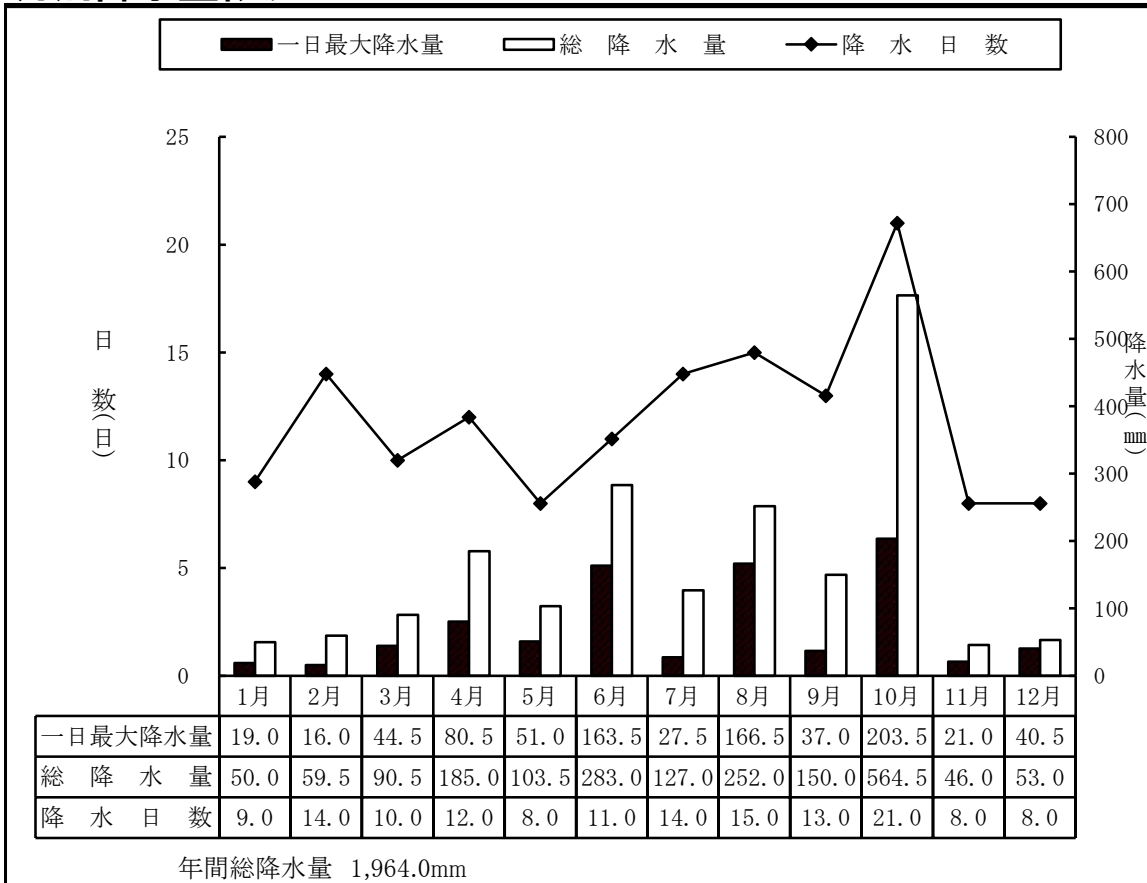
月別気象状況と火災件数



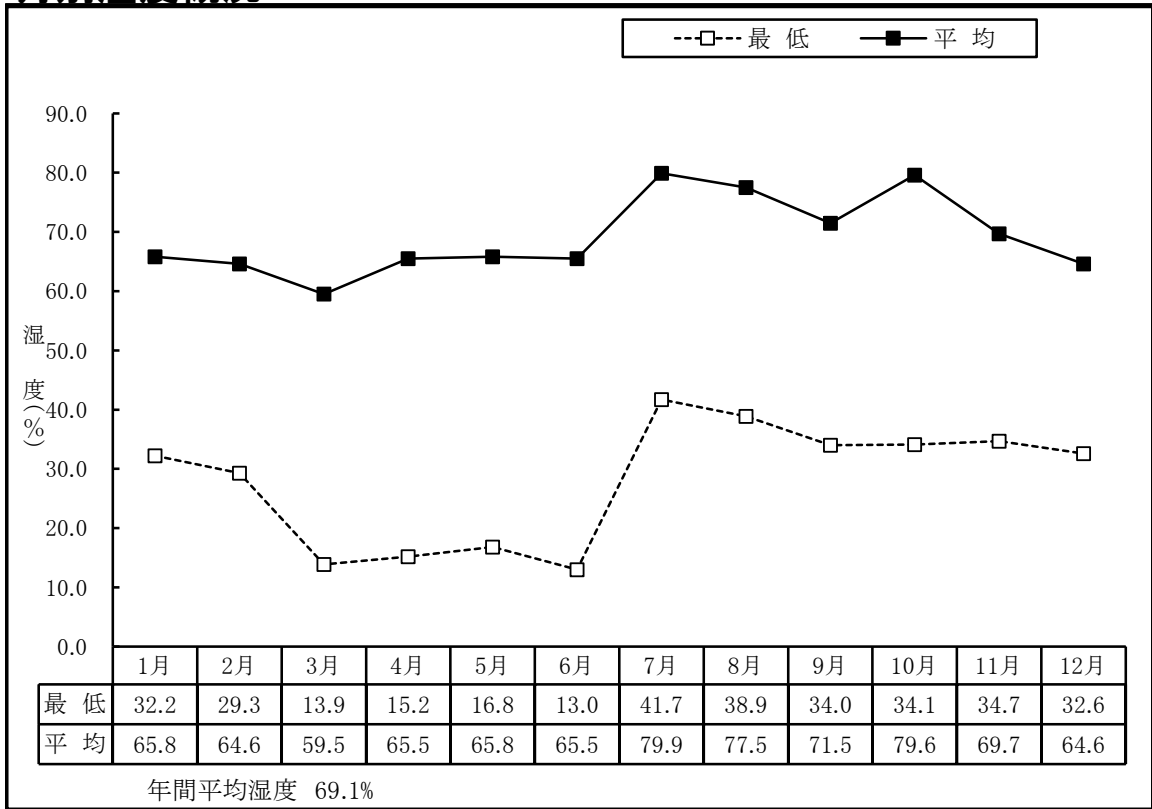
月別気温概況



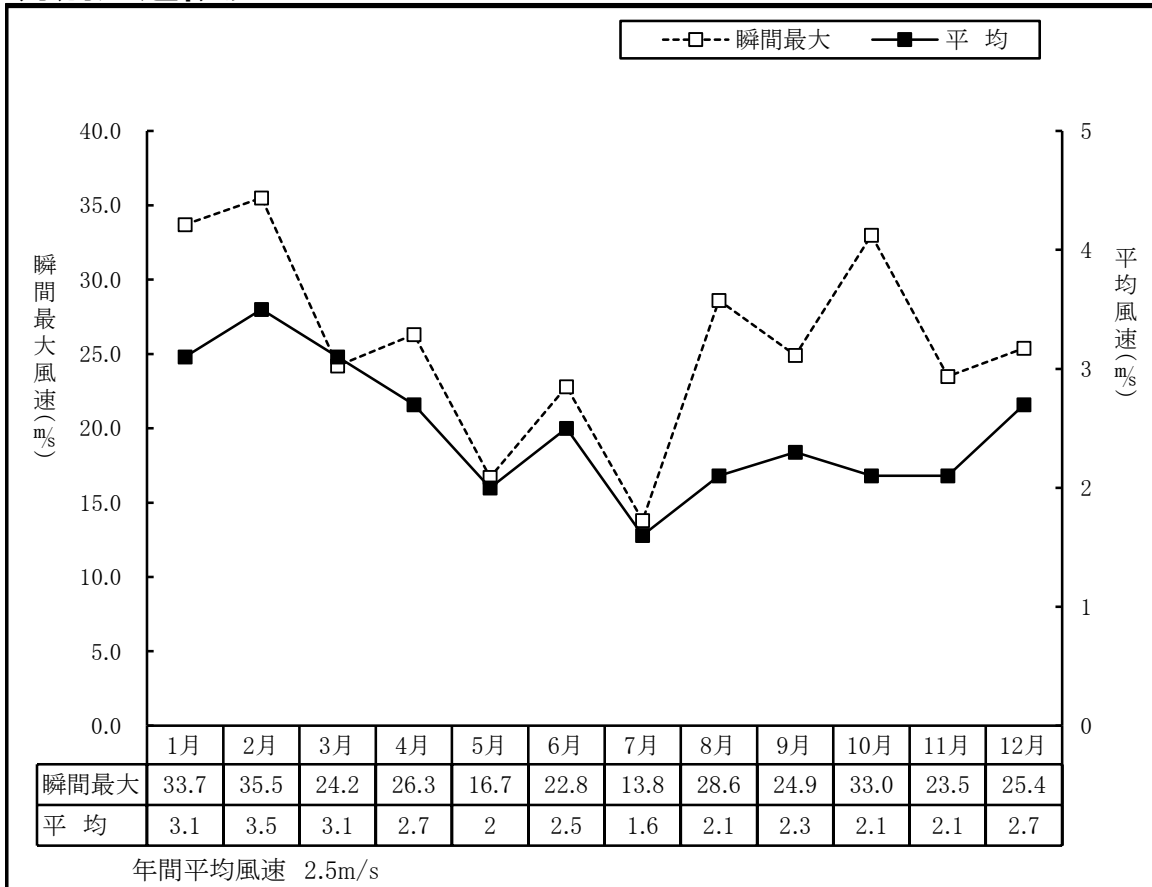
月別降水量概況



月別湿度概況



月別風速概況



気象通報受信状況

気象通報			月 別												合計		
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
特別警報	気象特別警報	暴風															
	特別警報	暴風雪															
	大	大雨															
	大	大雪															
警報	気象警報	暴風								1	1	1				3	
	警報	暴風雪															
	大	大雨								1		1				2	
	大	大雪	2													2	
注意報	気象注意報	大雨				1	2	1	3	2	1	5				15	
	注意報	大雪	4	3												7	
	注意報	風雪	1													1	
	注意報	雷	1	1	3	5	6	5	13	9	7	6	1	1		58	
	注意報	強風	1	2	1	1	1	1	1	2	2	3	1	1		17	
	注意報	融雪															
	注意報	濃霧				1	1	1	3			3	2			11	
	注意報	乾ばれ	1	1	7	3	2	3									17
	注意報	低温	1														1
	注意報	霜			19	5											24
	注意報	着氷															
	注意報	着雪	2	2													4
	注意報	洪水					2	1	1	2		2					8
高温注意情報								8	11							19	
竜巻注意情報						1	2	5	3	3	1	1				16	
火災気象通報		2	3	19	4	2	6					1			2	39	
気象情報	大雪に関する情報	15	13												1	29	
	強い冬型の気圧配置に関する情報	1														1	
	強風と高波に関する情報	3														3	
	雷と降ひょうに関する情報				2											2	
	高波に関する情報				1											1	
	高波と強風に関する情報				2											2	
	大雨に関する情報				4			1				4				9	
	雷と突風に関する情報				3	2	3	7	14	9			2			40	
	黄砂に関する情報					2										2	
	大雨と雷及び突風に関する情報					7	5	8	2	3	1					26	
	雷と突風及び降ひょうに関する情報							2								2	
	大雨と雷及び高波に関する情報							3								3	
	台風第3号に関する情報								7							7	
	台風第5号に関する情報									10						10	
	高温に関する情報									1						1	
	台風第18号に関する情報										12					12	
高波と大雨及び突風に関する情報											2				2		
台風第21号に関する情報												10			10		
台風第22号に関する情報												6			6		
雪に関する情報														1	1		
土砂災害警戒情報(菰野町)										1						1	

注1) 同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。
 注2) 注意情報及び、気象情報については三重県を対象に発表された回数を示す。
 注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。
 注4) 特別警報・警報・注意報・土砂災害警戒情報は、菰野町を対象に発表された回数を示す。

通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から「四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会」を設置して、四日市市消防本部中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

平成29年中

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	合計
菰野町	26	1,435	32	38	2	147	222	190	7		2,099
四日市市	157	14,115	88	244	72	1,708	1,650	1,880	162		20,076
桑名市	119	8,719	58	105	33	909	1,054	1,117	62		12,176
合計	302	24,269	178	387	107	2,764	2,926	3,187	231	0	34,351

※通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

平成29年中

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	合計
1	1	145		4		16	2	27	1		196
2	8	112	1	2		13	32	7			175
3	1	125	5	2		10	23	12	1		179
4	2	118	2		1	14	6	16			159
5	2	112	5	1		16	24	19	1		180
6	2	118	1	1		12	6	14	3		157
7	1	132	4	2	1	16	12	12			180
8	1	117	3	1		7	29	21			179
9	2	100	4	5		7	35	23			176
10	1	122	3	7		16	16	16			181
11	1	108	2	10		12	24	16	1		174
12	4	128	2	3		8	13	7			163
合計	26	1,435	32	38	2	147	222	190	7	0	2,099

菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

平成29年中

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	合計
固定電話	3	372	1	4		23	182	41			626
IP電話	4	412	2	2		21	30	45	1		517
携帯電話	19	651	29	32	2	103	10	104	6		956
合計	26	1,435	32	38	2	147	222	190	7	0	2,099

平成30年版
消 防 年 報

発 行 日 平成30年 8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電 話 (059) 394-3211

F A X (059) 394-5766

E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp